10年のあゆみ

関西ねじ協同組合

創立10周年記念誌

［表紙写真：螺旋花（ねじばな）］

関西ねじ協同組合

創立１０周年記念誌

目　　次

創立１０周年に寄せて・・関西ねじ協同組合 理事長　　箕村　理　　３
創立１０周年に寄せて・・関西ねじ協同組合 初代理事長　　田島 祥一　　４
祝辞・・・・・・・・・・・社団法人日本ねじ工業協会　会長　竹中 弘忠　　５
第１章　創立１０記念式典
式典次第・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
実行委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
第２章　沿革
創立に至るまで・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４～１５
１０年の歩み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６～２５
第３章　委員会の活動概要
人材確保推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８～２９
研究開発委員会（ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討）・　３０～３１
資格制度委員会（ねじ技能検定制度の構築）・・・・・・・・・・・　３２
総務委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
海外情報委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４～３５
福利厚生委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６～３７
会員交流委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
人材開発委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
広報委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
ＩＴ活用委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
K-2（二世会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
ねじづくりサポート会（旧賛助会分科会）・・・・・・・・・・・　４３
第４章　歴代役員年表・組合員名簿
歴代役員名簿表（第１期～第６期）・・・・・・・・・・・・・４６～４８
組合員名簿（平成２４年８月現在）・・・・・・・・・・・・・５０～５６
あとがき・・・・ 創立１０周年記念誌作成チーム　委員長　池田 裕之　　５７

創立１０周年に寄せて

関西ねじ協同組合　理事長　箕村　理

関西ねじ協同組合は本年、１０周年を迎えることができました。節目となる嘉日を迎えられたのは、田島祥一前理事長を含め歴代の役員、ならびに組合員・賛助会員の皆さま、経済産業省や大阪府などの関係機関のご指導、ご支援によるものであり、深く感謝申し上げます。

加えて、関西ねじ協同組合は昭和初期からねじ産業を支えてきた５つの団体が統合し創立された組合です。統合前のこれらの団体において業界発展に尽力された諸先輩方の働きにも深甚なる感謝の意を表します。

さて、関西ねじ協同組合が誕生してからは、イラク戦争、長野オリンピック、ライブドア事件、郵政民営化、民主党政権誕生、東日本大震災と、まさに激動の１０年間でありました。そして、中国は著しい経済成長を遂げ、日本を抜き世界第２位の GDP を誇っています。我々製造業を取り巻く経営環境も年々厳しさを増しております。国境を超えた価格競争は激しくなり、アジア諸国の製造技術は日進月歩で進化しています。以前にもましてグローバルな視点で経営判断をする重要性が高まっています。

このような中、関西ねじ協同組合は、創立当初から厚生労働省管轄「人材確保推進事業」に３年間取り組みました。この事業では人材確保検討委員会を新設し、数多くの研究会、講習会、研修会を実施しました。その後、４年連続して大阪府管轄「地場産業総合活性化補助事業」に取り組みました。この補助金事業を活用した研究開発委員会では、「ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討」をテーマに研究を続け、平成２２年３月には特許登録の成果を残しました。また、ねじ製造の技能検定制度構築が目標である「資格制度研究会（後に委員会へ昇格）」が、平成２１年度に全国中小企業団体中央会管轄「中小企業活路開拓調査・実現化事業」を活用し、技能検定学科試験用テキスト素案を取りまとめることができました。また、他団体との協力し JIS 改正原案作成にも大きく貢献することもできました。このように、創立以来の１０年間は、統合したスケールメリットを活かした大きな業界テーマに取り組み、成果を残すことができました。

本記念誌がこれら１０年間の歩みから教訓を学び、現在の歩みを律し、業界の輝かしい将来へと導くものとなれば幸いです。この１０周年にあたり、諸先輩方が残された働きに負けぬよう、今後も関西の締結業界発展のため寄与してまいりたいと決意しております。

最後になりますが、今後とも皆さまからの一層のご指導、ご支援、ご協力をお願い申しあげます。

創立１０周年に寄せて

関西ねじ協同組合 初代理事長　田島祥一

関西ねじ協同組合は２００４（平成１４年）年の創立以来、１０年の月日をかさねることが出来ました。関係各位のご支援の下、今日を順調に迎えられましたことに、組合の皆様方の多くの努力の賜物と深く感謝申しあげます。

ここで設立の経緯について少々振り返りますと、平成１３年に数度の５団体統合の準備会が開かれた後、１２月２６日に各団体の理事長や委員が集合しての第１回統合特別委員会が開催されました。　この開催に至る事ができましたのは、今回の大合併の口火を切られた（社）日本ねじ工業協会（元）副会長の北井正次さん、常に側面よりご支援いただいた副会長の嶋田亘さん、そして各団体の理事長各位の業界発展への強い思いがあったことを申し述べねばなりません。

この特別委員会におきまして、委員長として私が推進役を仰せつかり、①合併に伴う法的、財務的手続の検討　②新団体の事業計画の策定を協議することなどを決定いたしました。　又、新組合の名称の決定や、次年度の５月に各団体が個別に合併に向けての総会決議を行い、平成１４年１０月１日に新団体発足を実現するという合併のスケジュールを決定しました。

その後、この委員会は合併準備委員会として４回開催され、前述の諸手続や合併契約書の調印等をクリアーの後、新組合の理事予定者を決定してその役割を終了し、新組合の役員予定者会議にバトンを引き継ぎました。　この会議では、新組合の定款、会費、事業計画等々、及び創立総会の準備を協議したのですが、各団体に亘る多くのことが時間の切迫する中で錯綜し、関係者各位には大変なご努力を頂いたことを記憶しております。

創立大会は、当時話題が沸騰しておりました「ＮＨＫ･プロジェクトＸ」のチーフプロデューサーの今井彰氏による「これが日本人の底力だ」を記念講演とし、２００名を超える業界参加者が新組合の誕生を祝福し、関西のねじ業界に大いなる元気をもたらしたと話題になりました。

新組合は、初年度から研究開発事業や経営革新事業等７つの事業を展開し、それらの事業の成果は、今日に（社）日本ねじ工業協会の主要事業として実施されている「職能基準・資格検定制度」のベースを提供したことや、技術開発事業の「耐食性研究」は学会等で一定の評価を得るまでに成長しており、数々の事業成果は合併による組合活動の活性化と有効性を裏付けるものになっていると思います。

さて、関西ねじ協同組合設立から１０年を経過した現在の経済環境は、過去と比較ができないほどに凄まじい変化があり、大変厳しい状況になっております。いうまでもなく、円高や高い法人税等々に加え、電力不足問題を加えた所謂「６重苦」が我々「もの作り業界」を圧迫し、大変困難な環境になっています。

創立（合併）の精神もまさに「困難からの脱却」であったわけで、今がこのような状況であるからこそ、当組合の重要性がいよいよ高くなるはずです。　どうか組合指導者の皆さん、組合員の皆さん、関西ねじ協同組合を中心に一致団結し、素晴らしい関西のねじ業界が発展・継続できるよう、心を新たに取組まれますように期待いたします。

祝　辞

社団法人日本ねじ工業協会　会長　竹中弘忠

関西ねじ協同組合が創立１０周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴組合は、関西ねじ産業の更なる発展と、世界の経済環境の変化に機動的かつ有効な対応策の推進を図るべく、平成１４年１０月に在阪５組合（西部製線鋲螺工業協同組合、大阪鋲螺工業協同組合、近畿精密ネジ工業協同組合、日本ナット工業組合と大阪磨ナット工業協同組合）が統合され設立、現在、２００社の組合員を擁する関西を代表するねじ協同組合に統一、拡大されました。

私は、当時、大阪鋲螺工業協同組合の理事長として統合に携わってまいりました。

リーマンショック、円高、デフレ経済、東日本大震災などの危機を乗り越え、今日、１０周年を迎えられましたことは誠に喜ばしく、感無量でございます。

これもひとえに、歴代理事長、役員はじめ設立当初から組合を支えてこられた組合員の皆様の熱意と日々の努力の賜と衷心より敬意を表する次第です。

組合活動（事業）も活発に行っており、８委員会（研究開発、人材育成、海外情報、福利厚生、会員交流、広報、総務、ＩＴ）、７分科会（賛助会員、Ｋ－２、ドリルねじ、ボルト、ナット、小ねじ・タッピング、座金）等を設置されて組合事業を活発に展開されておられます。

特に、研究開発委員会では、独立行政法人雇用能力開発機構より３年間補助金の交付を受け「ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討」について研究を重ね、「ねじ寿命と相関関係の深い新たな試験方法」に関して特許を取得され大きな成果をあげられました。

また、資格制度研究会を設け、ねじ従業員の技能・技術レベルの向上を図るべく、「ねじ技能の資格検定制度」に関して検討を進めてまいりました。

現在は、社団法人日本ねじ工業協会資格委員会が業務を引き継ぎ、ねじ製造関連技術・技能に係る「国家検定」の創設を目指して、鋭意取り組んでおります。

「国家検定」実現のために貴組合のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

更に、ＩＴによる広報活動の強化、人材開発、海外市場調査、新卒者採用に関し在阪大学の就職課との連携推進など種々の事業を積極的に推進されており、関西のねじ産業の発展、振興に貢献されてこられました。

わが国経済は依然としてデフレ経済を脱却できず、加えて、欧米、中国等の新興国の景気停滞、海外製品との競合激化、需要産業の海外進出に伴う空洞化問題、原材料高等々ねじ業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況でございます。しかし、ご高尚のとおり、ねじは「産業の塩」と言われており、世界各国の機械工業、住宅・建築、生活用品等々の重要かつ不可欠な締結部品であり、これら産業の発展・品質向上並びに世界の人々の安全で快適な日常生活を影で支えております。

ねじの需要は世界のいたるところにございます。経済がグローバル化した現在、厳しい国際競争に打ち勝つためにも、ねじへの造詣を深め、先見性、洞察力そしてタフな交渉能力を養い、世界で通用する人材の育成に努めるべきではないか思う次第です。

大阪はねじ産業の一大集積地でございます。大阪を拠点に活動されておられる貴組合がこれからも大阪・関西から世界にさまざまな情報を発信され関西のねじ業界および日本のねじ業界のなお一層の発展のため、さらなるご活躍を心から願ってやみません。

貴組合が１０周年を将来への更なる飛躍の機会にされるとともに組合員各位のますますご発展を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

第　１　章

関西ねじ協同組合

創 立 １ ０ 周 年 記 念 式 典

日時：平成２５年１月１７日

場所：シティプラザ大阪　旬の間

The Fasteners Cooperative association of Kansai

第１章　記念式典

第１部　記念講演　講師：桂米團治　『国際人って何？』

～　講師：桂米團治さん Profile　～

本名：中川　明（なかがわあきら）

生年月日：昭和３３年１２月２０日

出身地：大阪府大阪市

【一言コメント】

上方の華やぎを大切に、落語の更なる繁栄を願って、今日も落語に邁進します！！

演台上に正座して落語の一部を披露された桂米團治さん♪

（写真上）

～講演に聞き入る参加者の方々～

第１章　記念式典

第２部　祝　宴

～式典受付のようす～

～司会進行を務める副理事長 北井啓之 氏～

～２４０名を越える参加者の方々～

第１章　記念式典

第２部　祝　宴

～挨拶する理事長の箕村理氏～

～近畿経済産業局 細川氏から祝辞～

～社団法人日本ねじ工業協会竹中弘忠会長からご祝辞～

～黄綬褒章受章の御祝：土沢健一氏（㈱ナツハラ）～

～乾杯の発生をする北井相談役と参加者～

第１章　記念式典

第２部　祝　宴

～祝宴に華を添えたフラメンコショー～
記念式典では市川恵子フラメンコスクールの皆さんが素晴らしいショーをご披露下さいました。

～閉会の挨拶をする副理事長の中江良一氏～

～米朝締めで祝宴を終える参加者の皆さん～

運営委員のご紹介

式典担当の運営委員

～～お茶目な米團治さんと運営委員～～
西副理事長・中江副理事長・北井副理事長
理事長 箕村理・桂米團治さん・池田裕之専務理事

10 周年記念誌の編集委員

～『１０年のあゆみ』編集委員～～
今井敏雄理事・久保清一理事・池田裕之専務理事

～～桂米團治さんのブログ紹介～～

1 月 17 日(木)は「関西ねじ協同組合」発足 10 周年記念の新春懇親会の講師として招かれ、「国際人って何？」という演題でお話しをさせていただきました。
私は“ねじ”に関しては全然知識がなかったので、事前に辞書で下調べをしました。
それによると、語源としてはギリシャ語で「かたつむりの殻」を意味する Cochlea が、ラテン語の「ねじ」になったとか。また、ビスに関してはラテン語で「ぶどうの蔓」を意味する Vitis が、フランス語で Vis となり、「ビス」と呼ばれるようになったそうです。

日本でのねじ産業の歴史は明治以降だそうですが、今回、理事長の箕村理さんにお話しを聞くにつれ、日本のねじ精度の高さは群を抜いているんだなぁと感心しました。
ただ、先般の中央自動車道の笹子トンネルの天井崩落事故に関しては、「すぐに我々ねじ業界が槍玉に上げられてしまいますが、あれは設置方法と点検補修の仕方に問題があるんです」と仰っていました。
考えてみると、トンネルに吊られている大きなジェット送風機も“ねじ”で留められているんですからね。青函トンネルも明石海峡大橋も“ねじ”が無ければ完成しない！ 「アンカー」と呼ばれる“ねじの土台”の付け方がいかに大切かということを教えていただきました。 小さな小さな“ねじ”からとてつもない大きなものを造り上げる…。

ふと、落語にも似ているなと思いました(^ー^) 我々も扇子と手拭いだけでとてつもない大きな世界を作り上げますからね(^_^v
製造業の根幹をなす“ねじ業界”の皆さん、これからもがんばって下さいね☆☆☆

ウチのモモにも“ねじり鉢巻き”をさせました(^0_0^)

第　2　章

沿　革

The Fasteners Cooperative association of Kansai

第２章　沿革

◆設立に至るまで

関西ねじ協同組合は、平成 14 年 10 月、関西のねじ製造団体５組合（西部製線鋲螺工業協同組合・大阪鋲螺工業組合・近畿精密ネジ工業協同組合・日本ナット工業組合・大阪磨ナット工業協同組合）は、ねじ業界の発展、競合国との競争並びに日本の経済情勢等に鑑み、五組合が合併し事業を効率的に進める事で効果的な活動の充実に繋がる旨結論に達し、組合員 140 社、賛助会員 47 社の規模でスタートいたしました。　関西における我がねじ業界の歴史を鑑みるとき、それぞれが実に立派に、営々と５０数年の歴史を刻んでこられました。

～　設立総会に臨む役員一同　～

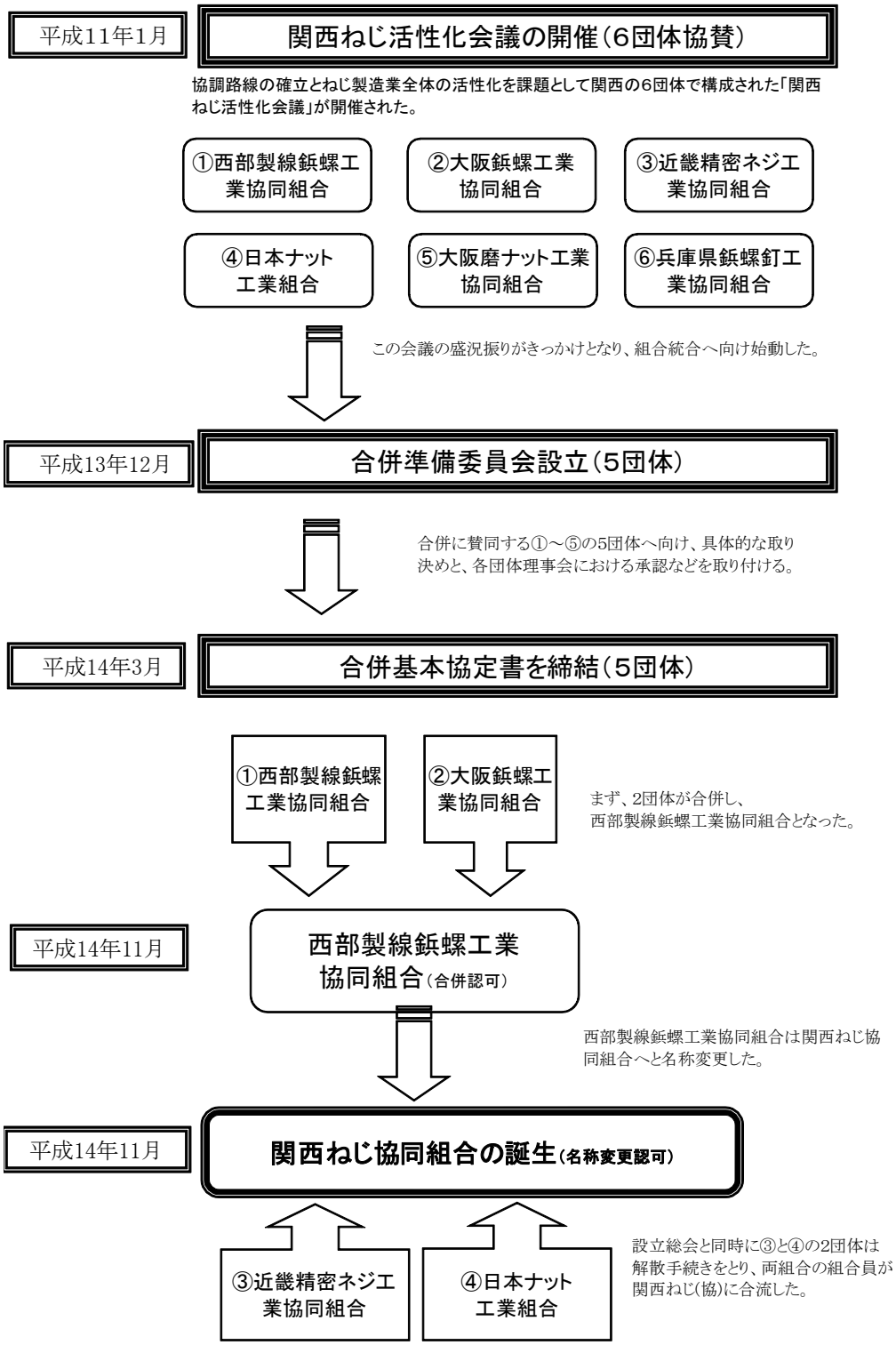
◆5 組合合併の営み

平成 14 年 3 月 27 日　合併の基本協定書　締結

西部製線鋲螺工業協同	（組合員数　72 社）
大阪鋲螺工業協同組合	（組合員数　24 社）
近畿精密ネジ工業協同組合	（組合員数　32 社）
日本ナット工業協同組合	（組合員数　31 社）
大阪磨ナット工業協同組合	（組合員数　18 社）

第２章　沿革

◆関西ねじ協同組合設立までの流れ



２００２年（平成１４年）

世界と日本 主な出来事	1/1ユーロ流通開始　1/29ブッシュ大統領悪の枢軸発言　　2/8ソルトレイクシテイ冬季オリンピック　4/1ゆとり教育（学校５日制）の開始 5/28経団連と日経連が統合し日本経団連が発足　7/9ＡＵ（アフリカ連合）発足　9/17小泉首相が北朝鮮を訪問・同国は拉致問題を認める
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：４７７兆９１４９億円 経済成長率（対前年比）１．１%成長　日本の完全失業率：年平均５．４％ ねじ生産重量　２５３万トン（対前年比１０１．０％） ねじ生産金額　６，２９２億円（対前年比１００．０％）
年の漢字：帰	拉致被害者が帰る・景気回復で帰る・歌謡曲リバイバルヒットで昔に帰る

この年、わが業界では関西におけるねじ関連の５団体（大阪鋲螺工業協同組合・近畿精密工業協同組合・西部製線鋲螺工業協同組合・日本ナット工業協同組合・大阪磨ナット工業協同組合）が統廃合し、平成１４年１０月１日『関西ねじ協同組合』設立総会を経て、初代理事長田島祥一氏を長に新生団体がスタートしました。　前身の５団体から選りすぐりのリーダーが組織中枢を固め『改革と発展』をスローガンに研究開発・広報・福利厚生・経営革新・総務・海外情報・交流促進の７委員会が設置されました。　これら各委員会の活動は、次年度から本格始動する下地作りとして、会合を中心に活発な取組みがなされました。組合活動の概要は以下の通りです。

＊平成１４年１０月１日設立総会・記念講演会
「思いはかなう。これが日本人の底力だ」
講師 NHK チーフプロデューサー今井彰氏

＊研究開発委員会　[委員長 豊田正喜]
①技術者の募集　②研究テーマの選定
③研究テーマごとのグループ会合を実施

＊海外情報委員会　[委員長 池田裕之]
海外産業の情報収集を目的として委員会を発足、第一回会合を実施

＊交流促進委員会　[委員長 木本寿夫]
会員間の交流を促す目的で委員会を発足、第一回会合を実施

＊広報委員会　[委員長 中谷格]
組合の情報発信を目的として委員会を発足、年三回の会合を実施し機関紙『結・創刊号』を発刊

＊福利厚生委員会　[委員長 久保清一]
会員企業従業員を対象に福利厚生の充実を図る目的で委員会を発足、年二回の会合を実施
第一回親睦ボウリング大会を実施
参加者：５１チーム　１５３名
優　勝：丸エム製作所Ａチーム

＊経営革新委員会　[委員長 北井啓之]
「IT&人材育成」を目的に委員会を発足、２班での活動を開始。年３回の会合を実施。
IT 講演会の実施
「NC ネットワークの創業逸話」
「インターネットを活用した経営革新の方向性」
講師：NC ネットワーク代表取締役内村康雄氏

＊総務委員会　[委員長 勝亦良彰]
年２回の理事会の実施

＊会員数：正会員１３８社　賛助会員４７社

２００３年（平成１５年）

世界と日本 主な出来事	1/29 朝青竜モンゴル人初の横綱昇進　2/24 北朝鮮が日本海にミサイル発射 3/3 大和とあさひが合併りそな銀行誕生　3/19 イラク戦争開戦　5/9 小惑星探査機はやぶさ打上　8/25 住民基本台帳ネットワークシステム開始 9/26 十勝沖地震　10/1 東海道新幹線『品川駅』開業
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：４８５兆９６８３億円 経済成長率（対前年比）１．０２%成長　日本の完全失業率：年平均５．２％ ねじ生産重量　２６１万トン（対前年比１０２．９％） ねじ生産金額　６，４７９億円（対前年比１０３．０％）
年の漢字：虎	タイガースのリーグ優勝・虎の尾をふむイラク派遣問題

平成１５年度は自動車、工作機械、デジタル家電、IT 関連の業界から景気回復はじまり、円高基調にもかかわらず輸出はアジア、中国を中心に大幅な成長を遂げました。　ねじ業界では生産量、生産金額は増加となりましたが、数次に亘る材料価格の引上げが行われ、業界が結束して対処すべき重要な問題となりました。　このような世情に対し、当組合では既存７委員会に加え雇用管理全般を改善する『人材確保推進事業』を厚生労働省の助成金採択を受け３カ年計画５委員会の構成で開始しました。　さらに会員啓発プロジェクトを新設、組合員全員が事業へ参加することで業界の結束意識を高め、体質強化を図る啓蒙活動として実施しました。主な組合活動は以下の通りです。

＊研究開発委員会

①難加工材グループ［グループ長 粉室各伸］
難加工に関する講演等の実施
「ステンレス・チタン材の圧造・切削加工上の特性に付いて」講師 大同特殊鋼㈱ 長島友孝氏
工場見学会の実施
見学先：旭サナック㈱・㈱三明製作所

②表面処理グループ［グループ長 北井敬人］
湿潤繰返試験・塩水噴霧促進試験・屋外暴露試験の実施とデータ収集

③環境問題グループ［グループ長 矢島隆］
ISO に関する講演会の実施
「ISO14001 の規格概要と最近の動向」日本品質保証機構　佐藤幸広氏　ほか

＊人材確保検討委員会

①第一委員会［委員長 松元収］
人事制度の講演会及びアンケート調査の実施
「今なぜ人事改革なのか」
講師 日本総合研究所 河崎英二氏ほか

②第二委員会［委員長 夏原和哉］
IT 研修会の実施「パソコンの基礎・Excel 初級・HP 基本作成・Excel 上級」など

③第三委員会［委員長 箕村理］
大卒採用支援と企業プレゼンの講座開催など

④第四委員会［委員長 平田政弘］
経営者セミナーの実施
「心の夜明け・激動時代のリーダーの条件」
日本メンタルヘルス協会 衛藤信之 氏　ほか

⑤第五委員会［委員長 矢野佳彦］
３S 活動モデル㈱山田製作所の見学会実施

＊福利厚生委員会

日帰りグルメツアーの実施
天橋立温泉ホテル北野屋　１４９名（バス３台）

＊会員交流委員会

泉が丘カントリークラブ/ザ・パークヒルズゴルフクラブ コンペ２回開催

＊会員数：正会員１３７社　賛助会員４６社

２００４年（平成１６年）

世界と日本主な出来事	1/12 山口から鳥インフルエンザの発生　4月政治家の年金未納問題が相次ぐ 8/13 アテネ五輪開幕　8/13 沖縄国際大学に米軍ヘリ墜落　10/23 新潟県中越地震発生　11/1 日本の新紙幣発行　11/2 東北楽天イーグルスの誕生 12/26 スマトラ島沖地震 M9.3 発生
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：４９７兆４４０７億円 経済成長率（対前年比）１．０２%成長　日本の完全失業率：年平均４．７％ ねじ生産重量　２８２万トン（対前年比１０８．２％） ねじ生産金額　７，０２３億円（対前年比１０８．４％）
年の漢字：災	台風・地震・豪雨・猛暑を経験・イラク人質殺害など

平成１６年、国内経済の回復傾向はその成長をやや緩やかにし、９月に入り原油先物相場で１バーレル５０ドルを超える高値を記録、市場価格が国民生活にダイレクトな影響を与える一年となりました。　球界ではソフトバンクホークスや楽天イーグルスが誕生し、年末にはゲーム産業からニンテンドウ DS、プレイステーションポータブルなどの発売に湧き、IT 産業が日本経済の機軸として一端を担うようになりました。　当組合では新たに賛助会員で構成する『賛助会分科会』、未来を担う二世会『K-2』が誕生し組合活動を更に活気付けるものとなり、同年の年間活動日数は１１０日を越え、３日に１度は何らかの事業が行われるという盛況を博しました。組合の活動概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会
研究テーマの継続実施と成果報告会の開催
「ISO 共同構築の取組みまでの歩み」
金剛鋲螺㈱横山邦夫氏、表面処理Ｇｒ：北井氏、難加工材 Gr：粉室氏らが報告実施
マグネシウム合金に関する講演会の実施
「Ｍｇ合金の特性と冷間加工用 MgLi 合金開発」
講師　大阪府立大学　辻川正人助教授
その他難加工材・表面処理・環境問題の活動詳細は「委員会の歴史」でもご確認下さい。

＊海外情報委員会
米国国際ファスナーショウへ視察団派遣の実施
USA：ラスベガスパリスホテル
セミナー「ファスナー品質保証」「中国の衝撃」

＊福利厚生委員会
親睦ボウリング大会の実施
場所：ロードボウル　参加：５２チーム１５６名
日帰りグルメツアーの実施
長島温泉「ホテル花水木」１３０名（バス３台）

＊会員交流委員会
太子カントリークラブ / 花吉野カンツリー倶楽部でコンペ開催

＊広報委員会
機関紙「結」５号・６号・７号の発行

＊総務委員会
年６回の理事会の開催、総会（ヒルトンホテル）及び新年互礼会（スイスホテル南海）を開催

＊人材確保検討委員会
①第一委員会：人事評価制度の研究及びアンケートを実施し報告書を作成・配布。
②第二委員会：教育訓練の PC 教室・Excel 教室・研修会等を実施。
③第三委員会：採用活動に関する講座の開催及び近隣大学就職説明会等へ参画を実施
④第四委員会：経営者セミナー等の実施
「部下の心を揺さぶる行動させるリーダーとは」
講師　㈱カワイプロ河合登代子氏ほか

＊会員数：正会員１３０社　賛助会員４９社

２００５年（平成１７年）

世界と日本主な出来事	2/16 京都議定書の発効　2/28 長野冬季オリンピック開幕　3/25 愛知万博（愛・地球博）が開幕　4/25JR 福知山線脱線事故　7/26 日本人飛行士野口氏を乗せディスカバリー打上　8/26 ハリケーン「カトリーナ」がフロリダで猛威
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：５０３兆９２１０億円 経済成長率（対前年比）１．０１%成長　日本の完全失業率：年平均４．４％ ねじ生産重量　２９６万トン（対前年比１０４．９％） ねじ生産金額　７，６５９億円（対前年比１０９．０％）
年の漢字：愛	紀宮様ご成婚・愛地球博・各界で「愛ちゃん」活躍

平成１７年、日本国内は好景気が本格的に推移され、ねじ業界もその波及により実質成長の年となりました。また、数次に亘る原材料価格の値上げに対し製品への価格転嫁が容認されるなど大きな成果を齎した年と言えます。　当組合では、平成１４年に開始した研究開発委員会表面処理 GR の研究テーマ「金属腐食の加速試験方法及びその方法による腐食寿命予測方法」（※後の FCK 法）が特許申請するに至り、さらに、厚生労働省助成金の採択を受け業界人事制度の確立に取組んだ人材確保推進事業は３年間の纏めとして成果報告を発刊しました。これは同省交流大会において大阪代表として認められ等組合の活動が活発顕著である証となりました。組合の活動概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会

①難加工材：超鉄鋼関する講演会及び技術講座の開催「超鉄鋼の優れた強度・成形性バランスと応用」講師 物質材料研究機構 鳥塚史郎氏

②表面処理：屋外暴露試験と加速の寿命相関図作成に取組み、同件を特許出願

③環境問題：ISO１４００１に関する講習会等の実施　「廃棄物とコストを削減する”グリーン購入”」講師 グリーン購入ネットワーク 深津学治氏ほか

＊海外情報委員会

ベトナムへ視察団派遣（２６名）を実施

ベトナム国際工業展・タカコベトナム・㈱ダイロックハノイ工場ほか視察

＊福利厚生委員会

親睦ボウリング大会の実施

場所：ロードボウル 参加：５２チーム１５６名

日帰りグルメツアーの開催

奥伊根温泉「油屋」１３５名（バス３台）

＊会員交流委員会

太平洋クラブ六甲コース / 秋津原ゴルフクラブでコンペを開催

＊広報委員会

機関紙「結」８号・９号・１０号の発行

＊総務委員会

年６回の理事会、総会（ホテル日航大阪）を開催、新年互礼会を大阪鋲螺卸商（協）と共同開催（ヴィアーレ大阪）

＊人材確保検討委員会

中小企業人材確保推進事業報告書（全６６P）の作成と配布、横浜国際平和会議場の交流大会で大阪代表として事例発表を行う。

第一から第五委員会では人事制度、教育訓練、大卒採用支援などの研究、人事に関する経営者向けセミナーなど実施

「考え方がその人の人生を決める」

講師 クロデザインスタジオ 黒田クロ氏ほか

＊会員数：正会員１２９社　賛助会員５１社

２００６年（平成１８年）

世界と日本主な出来事	1/23 ライブドア堀江社長が証券取引法違反で逮捕　4/28 拉致被害者家族が米国ホワイトハウスで演説　6/9FIFA ワールドカップドイツ大会開幕　9/19 タイ軍事クーデター勃発　9/20 安倍晋三内閣発足　12/30 サッダーム・フセイン元イラク大統領死刑執行
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：５１２兆４５１９億円 経済成長率（対前年比）１．０２%成長　日本の完全失業率：年平均４．１％ ねじ生産重量　３１２万トン（対前年比１０５．４％） ねじ生産金額　８，３９８億円（対前年比１０８．６％）
年の漢字：命	悠仁様ご誕生・いじめによる自殺、虐待、飲酒運転事故などが多発する

平成１８年、国内経済は円安による輸出産業の好業績が景気をけん引し、バブル経済以前の景気拡大と産業界では５年連続の増加基調が報告されました。　国内情勢に目を向けると、同年１月に発覚したライブドアの証券取引法違反での摘発、大手損害保険会社による保険金不払い問題が発覚し世間を賑わせました。　当組合では、前年で終結した人材確保推進事業の流れをうけ「人材開発委員会」を設置、引き続き IT 講習会や工場見学会、大卒採用の支援事業として近隣大学と情報交換会など人材教育に貢献する活動を行いました。また、組合増強のための会員開発プロジェクトを立ち上げ、正会員８社、賛助会員９社の新規加入者を迎かえました。ほか活動概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会　[委員長 藤原廣二]
①難加工材：定例会合及び潤滑処理に関する講演会の実施「材料の潤滑処理に関する講演」
講師 総合技術研究所 小見山 忍氏
②表面処理：定例会合の実施、日本ねじ研究協会発行機関紙に特許出願中の「建築用ねじの腐食寿命予測と試験方法」を寄稿
③環境問題：ISO１４００１内部監査に関する講演会等の実施

＊人材開発委員会　[委員長 中江良一]
近隣大学との情報交換会の実施
参加４１企業　１３大学
管理者対象研修会の実施「改善活動が本当の仕事」　講師 テクニカルサポート 仙田良二氏
工場見学会「鍋屋バイテック（岐阜県）」を実施
ほか IT 講習会、資格制度の検討など実施

＊海外情報委員会　[委員長 西泰宏]
チェコ・ドイツへ視察団派遣（１４名）実施
自動車大手４社ほかフックス社など視察

＊福利厚生委員会　[委員長 夏原和哉]
親睦ボウリング大会の実施
場所：ロードボウル参加：４９チーム１４７名
日帰りグルメツアーの開催
南淡路旅行旅館「うめ丸」１２９名（バス３台）

＊会員交流委員会　[委員長 木村繁雄]
聖丘カントリークラブ / 城陽カントリークラブでコンペ開催

＊広報委員会　[委員長 今井敏雄]
機関紙「結」１１号・１２号発行

＊総務委員会　[委員長 箕村理]
理事会の定期開催、総会（ホテル日航大阪）と新年互礼会（ホテルニューオータニ）の実施

＊営業政策プロジェクト　[委員長 池田栄治]
大阪鋲螺卸商（協）と共催セミナーの実施
「地球環境有害物質規制の最新情報」
講師 日東精工㈱ 稲津巧巳氏
後継者問題に関す講演会の開催　　ほか

＊会員数：正会員１３７社　賛助会員６０社

２００７年（平成１９年）

世界と日本主な出来事	1/9 防衛庁が防衛省に　3/1 国際線全線で液体の機内持込が禁止　4/16 米国バージニア工科大学銃乱射事件発生　5/28 政治家献金問題「政治とカネ」で現役大臣が自殺　7/29 参議院議員選挙で民主党が第一党に　9/26 福田康夫内閣発足　10/1 郵政民営化による発足式開催　H19 年：世界食糧価格危機年
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：５２３兆６８５８億円 経済成長率（対前年比）１．０２%成長　日本の完全失業率：年平均３．８％ ねじ生産重量　３３３万トン（対前年比１０６．７％） ねじ生産金額　９，０００億円越（対前年比１０８．２％）
年の漢字：偽	相次ぐ食品偽装・年金記録が偽り・耐震偽装・老舗料亭で消費期限偽造

平成１９年は前年の米国住宅バブル崩壊に伴うサブプライム住宅ローン問題が発した世界的な金融不信・ドル安の加速が起こり、原油市場では価格高騰を起すなど景況落下の年となりました。　国内では建築物の耐震偽装事件が相次いで発覚し、これに伴う建築基準法の改定から住宅着工件数が激減するなど、住宅業界やその周辺業界に大きな影響を与え、基幹産業が国内外から打撃を受けた年でした。　ねじ業界においては安定成長が続いた景況は陰りを残し、世界情勢を見据えた経営方針や対策が肝要とされました。　そのようななか、当組合では研究事業が大阪府地場産業等活性化補助金の採択をうけ、益々大きなプロジェクトに展開しています。そのほか組合事業の概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会
①表面処理：定例会合の実施、（社）表面技術協会で腐食寿命予測と試験方法を発表、日本工業出版発行「建築設備と配管工事」へ研究内容を寄稿
②環境問題：ISO１４００１環境内部監査員講習会を実施　講師 日産ネジ㈱ 川端氏 ほか

＊人材開発委員会
人材採用セミナーの開催「アルバイト・派遣中途新卒採用について」
講師 リクルートキャリア 森山典子氏
工場見学会「枚岡合金工具」の実施
経営者向け講習会の実施「管理会計手法による原価計算」講師 櫻井道裕氏
ほか IT・技能講習会の実施、資格制度の検討を実施

＊海外情報委員会
アメリカ合衆国へ視察団派遣（１２名）を実施
米国トヨタ・マサチューセッツ工科大など視察

＊福利厚生委員会
親睦ボウリング大会の実施
場所：桜橋ボウル　参加：５２チーム１５５名
日帰りグルメツアーの開催
若狭「ホテルせくみ屋」１３１名（バス３台）

＊会員交流委員会
ゴルフクラブ四条畷で年２回コンペを開催

＊広報委員会
機関紙「結」１３号・１４号発行

＊総務委員会
理事会、総会（ホテル日航大阪）開催
新年互礼会を大阪鋲螺卸商（協）と共同開催（ヴィアーレ大阪）

＊会員開発プロジェクト　[委員長 池田裕之]
新規加入者の斡旋（１３社新規加入実績）

＊賛助会分科会　[会長 田中良典]
年末情報交換パーテイの開催と㈱神戸製鋼所加古川製鉄所の見学会を実施　ほか

＊会員数：正会員１３６社　賛助会員７３社

２００８年（平成２０年）

世界と日本主な出来事	1/30 中国から輸入した冷凍餃子に有毒物質混入　5/7 ロシア連邦「双頭の鷲」大統領メドヴェージェフ、ウラジミール・プーチン首相就任　8/8 北京オリンピック開幕　9/24 麻生内閣発足　10/1 松下電器産業が社名をパナソニックに変更　11/4 米国大統領に黒人初のバラク・オバマが当選
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：５１８兆２３０９億円 経済成長率（対前年比）０．９９%成長　日本の完全失業率：年平均３．９％ ねじ生産重量　３２０万トン（対前年比３．８％減） ねじ生産金額　８，９８０億円（対前年比０．３％減）
年の漢字：変	政界トップの変化・金融情勢の変化・物価上昇で生活の変化・異常気象

平成２０年は米国投資銀行であるリーマンブラザーズが９月１５日、負債総額６４兆円という史上最大の倒産劇を起し世界的金融危機（世界同時不況）を引き起しました。後半に入り市場株価は大暴落し経済の乱高下を経験する一年となりました。　ねじ業界では平成１４年から続いた好景気は途絶え、自動車業界をかわきりに受注減少、生産調整が開始されました。当組合では理事長に箕村理氏を向かえ新体制が発足、業界全体の基盤強化を運営方針として掲げられ、ねじ産業の地位向上を目指す「ねじ産業未来開発プロジェクト」、ねじ技能検定制度を構築する「資格制度研究会」を新設、新たな体制での事業が開始されました。組合の主な事業概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会
表面処理グループ定例会合の実施、（社）大気環境学会で活動成果発表会を開催
会員向け活動報告会を産業創造館で実施

＊人材開発委員会
近隣大学との情報交換会実施
参加３７企業　１２大学
女子社員むけ講習会の実施「できる社員のビジネスマナー」講師 矢野沙基
経営者向け研修会の実施「大不況の羅針盤」講師 ㈱エムアンドエム 平佐聡典氏
そのほか IT 講習会・技能講習会などの実施

＊海外情報委員会
イタリアへ視察団派遣（１７名）の実施
アグレッティ社など視察

＊福利厚生委員会
親睦ボウリング大会の実施
場所：桜橋ボウル　参加：５２チーム１５１名
日帰りグルメツアーの開催
滋賀石山寺「ニューびわこ健康サマーランド」１０４名（バス３台）

＊会員交流委員会
ゴルフクラブ四条畷 / 泉が丘カントリークラブ / パインレイクカントリ―クラブで開催

＊広報委員会　［委員長 樫本宏志］
機関紙「結」１５号・１６号の発行

＊総務委員会　［委員長 池田裕之］
理事会の定期開催、総会（ホテル日航大阪）、新年互礼会（シテイプラザ大阪）の開催

＊ねじ産業未来開発 PRJ　[委員長 田島祥一]
K２・OS 会対象の意見交換会を実施

＊資格制度研究会　[委員長 北尾八三一]
構成メンバーの募集と組織体制、検定試験用教本作成を開始

＊IT 活用研究会　[委員長 勝亦良彰]
組合 HP を活用した広報を実施

＊特記：初代理事長田島祥一氏 藍綬褒章受章

＊会員数：正会員１３４社　賛助会員７１社

２００９年（平成２１年）

世界と日本主な出来事	1/15US エアウェイズがニューヨークハドソン川に不時着　4/24 世界保健機構（WHO）は新型インフルエンザ感染症を報告　6/25 歌手マイケル・ジャクソンが死去　7/1 家電普及促進のエコポイントがスタート　9/16 民主党が第一党に鳩山内閣発足
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：４８９兆５８８５億円 経済成長率（対前年比）０．９４%成長　日本の完全失業率：年平均５．１％ ねじ生産重量　２２２万トン（対前年比３０．７％減） ねじ生産金額　６，２８５億円（対前年比３０．０％減）
年の漢字：新	新政権・行政刷新・新型インフルエンザと新薬・（新）裁判員制度

平成２１年は世界各国の中央（準備）銀行が金利引下げを敢行し、産業界は金融不信の影響で生産調整･人員削減､･経営の統配合など対策断行が余議なくなされた年となりました。　ねじ関連産業全体に「１００年に一度の大不況」と言われ、各社雇用調整助成金など活用し会社存続、従業員の維持に奮起する年となりました。「勝組・負組」と言葉が流行ったのも同年の特徴と言えます。　当組合では未来開発プロジェクトが（社）日本ねじ工業協会と協賛で機械要素技術展に業界ブース出展（ＰＲ）を行い、また、２０１４年に迎え六角ボルトナット JIS 原案改正に対し兵庫県鋲螺釘、関東鋲螺釘の２団体と協調して業界意見の集約を図る活動に着手しました。組合の主な事業概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会
表面処理グループ定例会合の実施、（社）日本防錆技術協会管理士会で活動成果報告を開催

＊人材開発委員会　［委員長 豊田裕司］
技術講習会実施「非破壊検査講習」㈱大検
研修会の実施「中小企業の海外展開の可能性」
講師 甲南大学教授 M・R・シュレスタ氏
IT 講習会・マナー講習会・技能講習会の実施

＊海外情報委員会
バンコク･シンガポールに視察団派遣（１７名）
現地ジェトロ経済講演会など開催

＊福利厚生委員会
親睦ボウリング大会の実施
場所：新三国アルゴ 参加：４４チーム１３２名
日帰りグルメツアーの開催
橋立温泉「ホテル北野屋」１１８名（バス３台）
カーリース斡旋事業の開始

＊会員交流委員会
ゴルフクラブ四条畷でコンペ開催

＊広報委員会　機関紙「結」１７号・１８号発行

＊総務委員会
理事会の定期開催、総会（ホテル日航大阪）、新年互礼会を大阪鋲螺卸商協同組合と共同開催（シテイプラザ大阪）

＊ねじ産業未来開発 PRJ
機械要素技術展（インデックス大阪開催）に大阪鋲螺卸商（協）、（社）日本ねじ工業協会と連盟でブースを出展　スタンプラリーなど実施

＊資格制度委員会
全国中小企業団体中央会の活路開拓助成金の対象事業。基礎編・製造編の六角ボルトナットのテキスト作成、活動成果報告書を作成配布

＊JIS 規格検討協議会　[委員長 箕村理]
六角ボルトナットの技術的検討を開始、定例協議会を開催し日本ねじ研究協会へ委員を派遣

＊営業政策プロジェクト　[委員長 後藤晴雄]
会員対象の生産統計調査を開始

＊会員数：正会員１３２社　賛助会員７１社

２０１０年（平成２２年）

世界と日本主な出来事	1/19 日本航空が会社再生法の申請　2/12 バンクーバー冬季五輪開幕 4/14 アイルランドの火山噴火でユーロ圏の空港閉鎖　6/13 小惑星探査機はやぶさの帰還　9/7 尖閣諸島中国漁船衝突事件　11/13 ミヤンマー民主化指導者アウンサンスーチーが解放
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：５１１兆３０１６億円 経済成長率（対前年比）１．０４%成長　日本の完全失業率：年平均５．１％ ねじ生産重量　２８６万トン（対前年比１．０９％） ねじ生産金額　８，０８７億円（対前年比１．２９％）
年の漢字：暑	記録的な猛暑・チリ鉱山暑い地中から生還・はやぶさ大気圏の暑さ耐え帰還

平成２２年は前年に始まったエコカー減税や家電エコポイントの政策が個人消費を刺激し、自動車・家電業界を中心に緩やかな回復基調となりました。　しかし中小企業を中心とする我がねじ業界は一時的な回復傾向とは逆に、大手メーカーが海外へ生産拠点を移すことで国内需要の減少に歯止めの掛らない状況と言えました。　当組合では２０１４年の六角ボルトナットＪＩＳ改正に対し、２年を掛けて改正原案の方向性を見出し、また、ねじの技能検定構築を目指した資格制度委員会は大阪府の助成金採択を受け仮称ねじハンドブックを完成し講習会を実施するに至りました。これら２事業は当組合から発信し、社団法人日本ねじ工業協会へと活動の場を移し全国展開致します。組合の主な事業概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会　[委員長 大場康弘]
表面処理グループ定例会合の実施、ベトナムハノイ国際腐食防食技術会議 2010 に参加、「ねじの腐食寿命予測と試験方法」北井敬人氏が発表

＊人材開発委員会
経営者向け講習会の実施「会社が成功する理由・倒産する理由」講師 八起会 野口誠一氏
女子社員向け講習会の実施「できる女性のビジネスマナー」講師 古田由美
IT 講習会・技能講習会の実施と近隣大学との情報交換を実施

＊海外情報委員会
メキシコへ視察団派遣（１１名）を実施
フォルクスワーゲン社、モデロ社を視察

＊福利厚生委員会
親睦ボウリング大会の実施
場所：桜橋ボウル　参加５２チーム１５６名
日帰りグルメツアーの開催
白浜［ホテルシーモア］１３１名（バス３台）

＊会員交流委員会　［委員長 今井敏雄］
ゴルフクラブ四条畷 / 万寿ゴルフクラブ開催

＊広報委員会　機関紙「結」１９号・２０号発行

＊総務委員会
理事会の定期開催、総会（リーガロイヤルホテル）、新年互礼会（シテイプラザ大阪）を開催

＊ねじ産業未来開発 PRJ　［委員長 中江良一］
（社）日本ねじ工業協会５０周年記念事業への支援協力（記念誌、エッセイコンテスト、フォトコンテスト、記念フォーラム）

＊資格制度委員会
大阪府地場産業等活性化補助金の対象事業に採択、ねじハンドブックを活用した講習会・模擬試験の実施
会場：大阪府商工会館　受講生：８５名

＊特記：黄綬褒章受章者（H２２春 / 秋）
金剛鋲螺株式会社　久保清一 氏
紀州ファスナー工業株式会社　中江理廣 氏

＊会員数：正会員１３１社　賛助会員７１社

２０１１年（平成２３年）

世界と日本主な出来事	2/22　ニュージーランド･クライストチャーチで地震　3/11 東日本大震災発生　3/12 九州新幹線全線開業　4/29 英国ウイリアム王子ケイトミドルトンと挙式　7/17FIFA ワールドカップでなでしこジャパンが優勝　7/24 地上デジタル放送へ全面移行　10/5 アップル創業者フティーブ・ジョブズ死去
日本全体とねじ業界の概況	日本の国内総生産：５０７兆４７８７億円 経済成長率（対前年比）０．９９%成長　日本の完全失業率：年平均４．５％ ねじ生産重量　２７６万トン（対前年比３．７％減） ねじ生産金額　７，９７３億円（対前年比１．４％減）
年の漢字：絆	東日本大震災、大規模災害から絆・国際社会の民主化運動で得た絆

平成２３年３月１１日東日本大震災発生。この震災は‘国難’に値する傷跡を日本に残しました。かけがえのない多くの命を奪われ、国民誰もが悲しみと痛みを感じたことと思います。産業界では東電管内の電力不足や原材料・部品の調達不善、自動車業界は生産停止に追い込まれるなど未来永劫に語られる日本経済停滞の年となりました。　ねじ業界は出荷生産調整を余儀なくされ、また産業界の復興に合わせて至急の供給要請など混乱の年となりました。当組合では資格制度委員会、ねじ産業未来開発プロジェクト、ＪＩＳ規格検討協議会の３事業が一定の成果をなし事業終焉となりました。組合創立から１０年の節目を迎え、次年度は更に会員ニーズに応える新事業を開始します。組合の主な事業概要は以下の通りです。

＊研究開発委員会
表面処理グループ定例会合の実施、スガウェザリング学術講演会で研究成果発表の実施

＊人材開発委員会
経営者向け講習会の実施「税制改革をぶっ飛ばせ！」講師 税理士 津守克洋氏
女性社員向け講習会の実施「できる女性のビジネスマナーその２」講師 古田由美さん
工場見学会「株式会社ダイフク滋賀工場」実施
その他技能講習会を年６回の実施

＊海外情報委員会
スペインへ視察団派遣（９名）を実施
マドリッドジェトロ講演会の実施

＊福利厚生委員会
親睦ボウリング大会の実施
場所：桜橋ボウル　参加：５６チーム１６７名
日帰りグルメツアーの開催
天橋立温泉ホテル北野屋　１３２名（バス３台）

＊広報委員会　機関紙「結」２１号・２２号発行

＊会員交流委員会
ゴルフクラブ四条畷 / 枚方カントリークラブでコンペを開催

＊総務委員会
理事会の定期開催、総会（ホテル日航大阪）、新年互礼会を大阪鋲螺卸商（協）と共同開催（シテイプラザ大阪）

＊ねじ産業未来開発 PRJ
若手社員対象ワークショップの開催
場所：シテイプラザ大阪　参加者２４名

＊資格制度委員会
日本ねじ工業協会と技能検定講習会を実施
場所：天満研修センター　参加者１００名

＊JIS 規格検討協議会
日本ねじ研究協会「六角ボルトナット JIS 原案作成委員会」へ JIS 原案の創案提出

＊IT 活用研究会　[委員長 川端康弘]
組合 HP 更新作業を年６回実施

＊会員数：正会員１３０社　賛助会員７０社

国家栄典受章者

◆ 平成１９年（秋）　旭日双光章 受章

北井　正次　氏　（ケーエム精工株式会社）

◆ 平成１９年（秋）　藍綬褒章 受章

由良　豊一　氏　（嘉亀鋼業株式会社）

◆ 平成２０年（秋）　藍綬褒章 受章

田島　祥一　氏　（株式会社丸ヱム製作所）

◆ 平成２１年（秋）　旭日双光章 受章

中島田 正徳 氏　（株式会社中島田鉄工所）

◆ 平成２２年（春）　黄綬褒章 受章

久保　清一　氏　（金剛鋲螺株式会社）

◆ 平成２２年（秋）　黄綬褒章 受章

中江　理廣　氏　（紀州ファスナー工業株式会社）

◆ 平成２４年（秋）　黄綬褒章 受章

土沢　健一　氏　（株式会社ナツハラ）

第　3　章

委員会の活動概要

The Fasteners Cooperative association of Kansai

人材確保推進事業

活動方針	人材の採用・教育・定着・戦略化を進める為の課題に取り組む
事業内容	人事制度、教育訓練、募集採用、育成定着、職場環境の５テーマに沿った研究会、講習会、講演会などの事業を実施
委員長沿革	平成１５～１７年　北井　啓之

背景と経緯

関西ねじ協同組合が創立された平成１４年頃、産業界は中国から波及する価格競争が激しさを増していた時期でり、業界全体が過当な価格競争から脱却するために高付加価値の商品開および製造のできる企業へと変化が求められていた。

このような中、平成１５年５月の総会において「人材確保推進事業」に取り組むことが決議され、同年７月末、当組合が助成金対象組合としての内定通知を受け、翌８月に当該事業に関する事業項目・実施体制・予算などの諸事項が理事会にて詳細決議された。

概要

「人材確保推進事業」とは、「中小企業における労働力の確保及び良好な雇用機会の創出のための管理改善の促進に関する法律」に基づき、中小企業が労働時間の短縮、職場環境の改善、福利厚生の充実、募集方法の改善、教育訓練の充実など、雇用管理全般の改善を図り職場の魅力を高めようとする取り組みを行う場合に国や都道府県が援助するという仕組みにそったものである。

この事業に取り組むにあたり、従来の「経営革新委員会」を発展解消させ、北井啓之氏を委員長とする「人材確保推進検討委員会」設置した。さらにその下に下記５つのテーマに沿った委員会を組織し事業に取り組んだ。この事業は平成１５年度から３年におよび、最終年には全６６ページから成る報告書を作成し事業を締めくくった。

委員会	委員長	テーマ	内容
第一委員会	松元　収	人事制度	企業の活性化や若者の意欲を向上させる新しい人事制度の研究
第二委員会	夏原　和哉	教育訓練	IT をビジネスに取り組むことを中心とした教育訓練の実施
第三委員会	箕村　理	募集採用	各組合員共同で新卒募集の機会を提供し、かつ各企業の魅力を PR するための研究
第四委員会	平田　政弘	育成定着	従業員の早期育成・定着のためのモチベーションを高める手法の研究
第五委員会	矢野　佳彦	職場環境	雇用環境の継続的な改善の研究

活動内容：第一委員会

バブルとともに終身雇用制度が崩壊し新しい人事制度を社会全体が模索していた中、中小零細が多数を占める組合企業にとって最適な人事制度（評価制度）とは何かを研究会として合計２５名の委員が３年をかけて議論した。最終年度には「ねじ業界企業における人事制度整備の方向性」と題した５０ページの報告書を作成・配布した。

活動内容：第二委員会

パソコンの基本、Excel、ホームページなど IT 分野の講習会を行った。加えて、社員ひとりひとりの生産性向上を目指し、若手社員・中堅社員・女性社員・管理職などの職責ごとのセミナーを実施。講習会・セミナーは３年間で合計１１回にのぼる。

活動内容：第三委員会

各企業の大卒採用を支援するために、学生に対するプレゼンテーション手法を研究し、それに基づいた研修会の実施や民間リクルートが運営する合同説明会へ参加し実際の採用活動にも取り組んだ。最終年には大阪産業創造館でねじ企業８社による合同企業説明会を行い学生採用の成果を残した。

活動内容：第四委員会

従業員のモチベーション（働く意欲）に関する知見を高めるために、「心」をテーマにし３年間で３回の講演会を開催した。また、最終年にはコーチング技法に関する研究会を実施した。

活動内容：第五委員会

生産工場を含める職場環境の改善は業界にとって重要な課題であり、第五委員会では５Ｓ活動・ＱＣ活動をテーマとする工場見学会や研究会を行った。また、最終年にはＴＷＩ（管理監督者訓練）の仕事の教え方コースの研修会にも取り組んだ。

研究開発委員会

活動方針	時代の流れに沿った先端技術の研究や情報収集を行い、業界全体のレベルアップを目指す	
事業内容	・屋内加速試験の実施とデータ収集 ・屋外暴露試験の実施とデータ収集 ・活動成果報告書の作成と配布	
委員長沿革	創立～	豊田　正喜
	平成１８年度～	藤原　廣二
	平成２２年度～	大場　康弘

背景および経緯

研究開発委員会は発足当初「表面処理」「環境問題」「難加工材」の３グループでスタートした。しかし後に各グループの活動状況を考慮し「表面処理」のみに研究テーマを絞り込み現在に至っている。

研究開発委員会が立ち上げられた頃、建設メーカーが住宅や工場での万一の不具合に対して１０・２０年保証を行うことに伴ってねじメーカーにも同様の保証を要求するようになった。しかし、ねじの腐食に関して実環境での暴露試験データが無いことや腐食寿命予測の手法が無くこの保証への対応が課題とされていた。（一般的な塩水噴霧試験は実暴露試験との相関性が低いため耐用年数の予測は困難）このような時代背景により研究開発委員会の「表面処理」グループで「ねじの腐食寿命予測と試験方法」の研究がスタートした。

活動内容

委員会では初めに８種類のねじを選定、試験片を作成し、次の２つを柱とし研究を行った。

・屋外暴露試験（国内５箇所・国外１箇所）による実曝露データの収集
・種々の屋内加速試験を行い屋内加速試験と相関性の高い試験条件を研究

平成１８年から４年間、大阪府地場産業総合活性化補助事業を活用できたことは、コストの高い屋内加速試験を継続的に行う大きな支えとなった。また、毎年「ねじの腐食寿命予測と試験方法の検討」と題する活動成果報告書を作成・配布し研究成果を広報している。　報告書は現在Ⅰ～Ⅵを発刊。

なお、大阪府産業技術総合研究所 OB 佐藤幸弘氏が活動当初から同研究の支援を頂いた。

８種類の試験片

種類	ドリルねじ		六角ボルト
材質	SWCH18A	SUS410	SWCH10R
表面処理	A. ユニクロ 5μm	D. パシベート１	F. ３価クロメート 5μm
	B. ユニクロ 12μm	E. パシベート２	G. ユニクロ 5μm
	C. ユニクロ 20μm		H. 溶融亜鉛 20μm

屋外暴露試験設置場所

場所	環境	内容
御前崎	沿岸部	日本塗料検査協会屋外暴露試験場
名古屋１	都市部重工業地帯	名古屋市環境科学研究所
名古屋２	都市部重工業地帯	大同特殊鋼技術研究所
大阪１	都市部	大阪府環境農林水産総合研究所
大阪２	都市部	組合入居ビル屋上
重慶	内陸部重工業地帯	中国重慶市環境科学研究所

特許登録

御前崎での屋外暴露試験は、沿岸部という過酷な環境条件のため試験開始から１６ヶ月で全ての試験片に赤錆が発生した。この結果と相関性の高い屋内加速試験条件を見つけ、平成１７年に特許申請し、平成２２年３月には特許登録された。

項目	説明		
発明の名称	金属腐食の加速試験方法及びその方法による腐食寿命予測		
特許権者	関西ねじ協同組合	登録番号	特許第 4471897 号
出願	平成 17 年 7 月 21 日	登録	平成 22 年 3 月 12 日

FCK 法とは何か？

FCK 法とは特許登録した屋内加速試験条件を指す。FCK 法の試験で 60 日間赤錆発生が無かった場合、都市地帯で約 20 年、海岸地帯で約 4 年、赤錆が発生しない腐食寿命を下記計算式で予測できる。

FCK 法と腐食寿命予測の計算式

計算式	Y:屋外暴露における赤錆発生時間（月）　X:FCK 法試験時間（日） 都市部:Y=4.36X　海岸部 Y=0.77X
試験溶液	0.5wt%NaCl+0.1wt%$CaCl_2$ に 0.0001N(H_2SO_4)を添加し pH4 に調合
噴霧条件	50℃で噴霧 16hr + 乾燥 8hr を 1 サイクルとする

資格制度委員会

活動方針	ねじ業界の技能検定制度構築を目指す活動の実施
事業内容	・技能検定テキスト（ねじハンドブック）の制作
委員長沿革	平成２０年度～　　北尾　八三一［研究会］ 平成２１年度～　　北尾　八三一［委員会］

経緯

ねじ業界において技能検定制度が画一されていないことは業界の内存問題として大きな課題であり、平成 19 年から人材開発委員会の事業の一部としてこの課題について研究・調査が始まった。その後、平成 20 年度に箕村理氏を理事長とする新体制が発足し、同研究を資格制度研究会として特化し、更に翌年には委員会として昇格し活動の展開を図った。

活動内容

委員会は、ねじメーカーだけでなく関連企業も含めた 23 名で組織された。活動の第一歩は、担当官庁の担当者を訪問し、技能検定制度そのものについて知識と理解を深めることでり、その後、技能検定制度学科試験の土台となるテキスト作成を開始した。

会議では、テキストで扱う範囲・レベルの深さ・扱い方などに関して真剣な議論が数ヶ月間にも続き行われ、誤字脱字の修正・文調の統一・引用文献に関する著作権の調整にいたるまで、気の遠くなるような膨大な作業を、北尾委員長を始めとする各委員が精力的に取り組み、テキストの完成へと近づけた。　遂に平成２２年度、六角ボルトと六角ナットに範囲を絞った第一版テキストを完成させ、このテキスト作成においては平成２１年度全国中小企業活路開拓・実現化事業の対象となり活動を大きく前進させる力となった。

その後、国家技能検定の対象とするために全国規模の実績が求められることから、(社)日本ねじ工業協会が活動を引き継いだ。また、テキストの版権も譲渡した。平成２３年度には「六角ボルト・六角ナット」を対象とした学科試験・実技試験が大阪・名古屋・東京で行われ、１２名の協会認定合格者を出すに至った。

技能検定用テキスト案　目次

I.　基礎編
- 1.　全体
- 2.　ねじの基礎知識
- 3.　材料
- 4.　機械要素
- 5.　機械製図
- 6.　品質保証･管理
- 7.　検査試験
- 8.　電気
- 9.　潤滑油･圧造油
- 10.　油圧･空気圧
- 11.　熱処理
- 12.　表面処理
- 13.　安全衛生

II.　製造編
- 1.　六角ボルト
- 2.　ボルト生産主要加工設備
- 3.　ボルト工程設計
- 4.　ボルト生産機械保守･点検
- 5.　ナット

総務委員会

活動方針	総会、新年会、理事会を統括し、組合運営の円滑な推進に貢献する	
事業内容	・定期的な理事会の開催 ・新年互礼会の開催 ・総会の開催	
委員長沿革	創立～	勝亦　良彰
	平成１８年度	箕村　　理
	平成２０年度	池田　裕之

総務委員会は新年会・総会・理事会の運営や設営が主な事業である。年に７回ほど行われる理事会では各委員会の予算や事業の進捗状況が報告され円滑な組合運営を支えている。また、時に応じた業界全体の懸案事項も理事会で審議し業界の発展・活性化へ貢献している。総会では総会議事だけでなく講演会や組合事業報告会、懇親会を兼ねた有意義な集まりで多くの構成企業が出席している。また、新春互礼会は在阪ねじ商社団体の大阪鋲螺卸商協同組合と合同開催を平成１５年より隔年で行なっており、メーカー・商社の役員・従業員３００名近くが一堂に会する貴重な情報交換・親睦交流の機会となっている。

総会
総務
理事会
新年会

海外情報委員会

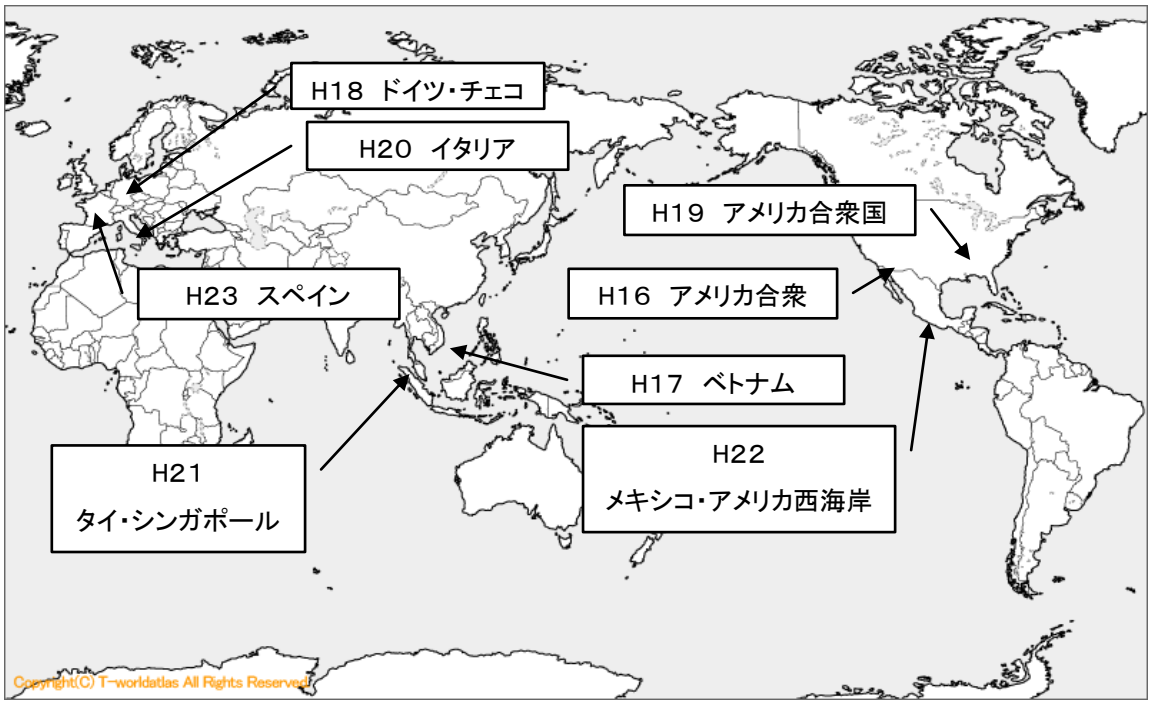
活動方針	海外の産業動向を研究する年一回の海外研修を行う	
事業内容	・海外視察の実施	
委員長沿革	創立～	池田　裕之
	平成１８年度～	西　　泰宏
	平成２４年度～	柳原　考至

海外情報委員会は年に一度 海外視察を行っている。主にねじのユーザ企業やねじの関連企業の工場を視察し各国の経済や産業事情に関する知見を深めている。また、視察に合わせて現地の文化遺産や遺跡等を訪問し、参加者同士の交流を深める機会となっている。

渡航先一覧

年度	視察先国名	詳細
１６	アメリカ合衆国	ラスベガス・ファスナーショー
１７	ベトナム	ベトナム国際工業展 VSIP 工業団地 タカコベトナム社 ホーチミン工科大学
１８	ドイツ・チェコ	TPCA 社（トヨタ・プジョー・シトロエン・オートモービル） メルセデスベンツ工場 フックス社
１９	アメリカ合衆国	マサチューセッツ工科大学 ハーバード大学 米国トヨタ自動車工場
２０	イタリア	AGRATI　GROUP　社（ねじメーカー） ヴェニス、フィレンツェ観光
２１	タイ シンガポール	KOBAYU THAILAND 社（ねじ商社） CHAZAO PAO 社（台湾伸線メーカー）
２２	メキシコ アメリカ西海岸	フォルクスワーゲン工場 テオティワカン等の世界遺産観光
２３	スペイン	マドリッド JETRO での講演会 マドリッド、バルセロナ、トレド訪問

地図で見る海外視察先



アメリカ合衆国　トヨタ

ドイツ　メルセデス・ベンツ

ベトナム　タカコ

メキシコ　フォルクスワーゲン

福利厚生委員会

活動方針	構成会員の従業員並びに家族を対象とした福利厚生の充実を目指す
事業内容	・親睦ボウリング大会 ・日帰りグルメツアー ・家庭常備薬、カーリース、各種保険の斡旋
委員長沿革	創立～　　久保　清一 平成１８年度～　　夏原　和哉

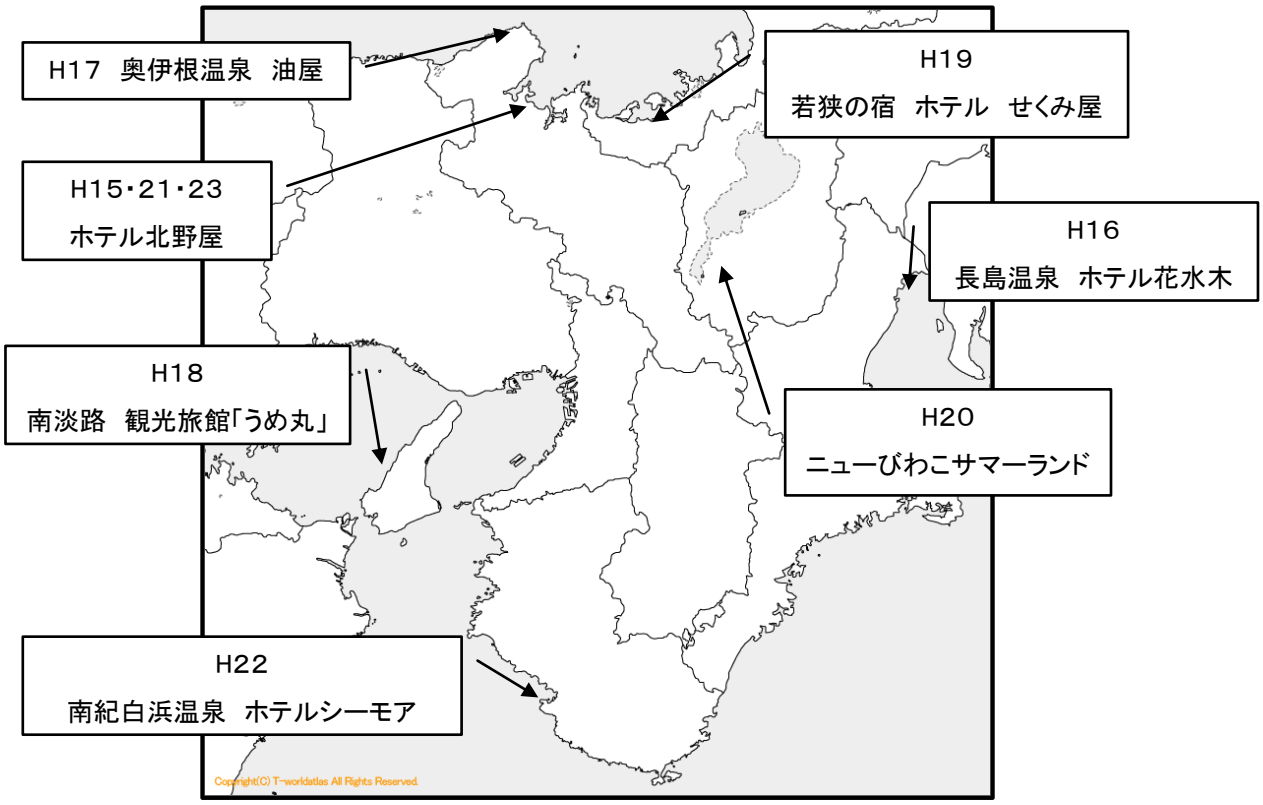
福利厚生委員会は「親睦ボウリング大会」「日帰りグルメツアー」を主な事業として活動している。親睦ボウリング大会、日帰りグルメツアーともに毎年１３０名を越える参加者を向かえ、組合事業の中でも人気の高い事業である。

親睦ボウリング大会では成績上位から飛び賞まで多くの景品が用意されておりリピーターの参加者も多く、また、日帰りグルメツアーは豪華な食事に加えてバス車中でのビンゴゲームも景品を目指して楽しむなど参加者の人気が高い理由でもある。

親睦ボウリング大会　団体戦　優勝企業

回	企業名	回	企業名
1	株式会社丸エム製作所	6	紀州ファスナー工業株式会社
2	ケーエム精工株式会社	7	株式会社丸エム製作所
3	鹿児島金属株式会社	8	株式会社ダイロック
4	日産ネジ株式会社	9	ケーエム精工株式会社
5	株式会社丸エム製作所	１０	ケーエム精工株式会社

地図で見るグルメツアー訪問先



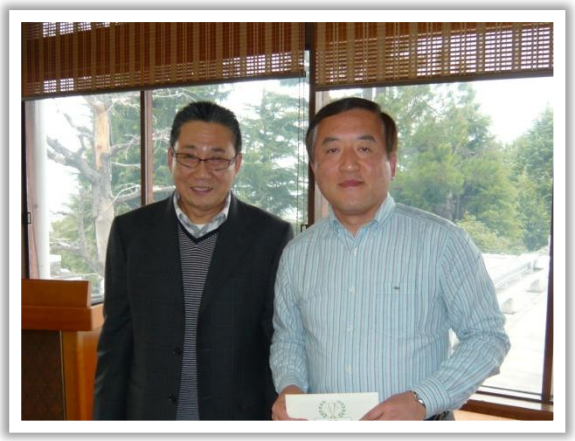
会員交流委員会

活動方針	ゴルフコンペを開催し、構成会員相互の親睦交流を深めることを目指す	
事業内容	・親睦ゴルフコンペの開催 ・囲碁倶楽部の開催	
委員長沿革	創立～	木本　寿夫
	平成１８年度～	木村　繁雄
	平成２３年度～	今井　敏雄

会員交流委員会は年２回の親睦ゴルフコンペの実施と囲碁倶楽部の定例開催が主な活動である。ゴルフコンペはこれまで１９回開催するに至り、企業役員層を中心とする参加者で情報交換の分野でも貢献してきた。　また、平成１９年から囲碁倶楽部が委員会内に新設され新たな交流の輪を広げる場となっている。

ゴルフコンペ優勝者

回	優勝者	開催地	回	優勝者	開催地
1	江本　清吉	泉ヶ丘 CC	１１	田島　祥一	GC 四條畷
2	小林　裕吉	ザ・パークヒル GC	１２	田島　祥一	泉ヶ丘 CC
3	木本　寿夫	太子 CC	１３	堤　親朗	パインレーク GC
4	岡井　靖洋	花吉野 CC	１４	田中　良太郎	GC 四條畷
5	梅林　衛	太平洋 CC	１５	上田　健	GC 四條畷
6	樫本　隆之	秋津原 GC	１６	福田　壮吉	万壽 GC
7	江本　清吉	聖丘 CC	１７	北角　尚弘	GC 四條畷
8	岡井　靖洋	城陽 CC	１８	樫本　隆之	枚方 CC
9	田島　祥一	GC 四條畷	１９	山川　佳秀	関西 GC
１０	三木　年正	GC 四條畷			



人材開発委員会

活動方針	人材の高度化、新人材の採用等の課題に取り組む	
事業内容	・技能講習会 ・従業員対象の講習会や研修会 ・経営者対象の講演会 ・工場見学会	
委員長沿革	創立～	北井　啓之［当時は経営革新委員会］
	平成１５年度～	北井　啓之［当時は人材確保検討委員会］
	平成１８年度～	中江　良一
	平成２０年度～	豊田　裕司
	平成２２年度～	由良　宜彦

人材開発委員会の前身は設立当初の「経営革新委員会」である。その後、人材確保推進事業に取り組むため、人材確保検討委員会に改組した。３年に渡る同事業が終了した平成１８年に現在の人事開発委員会として活動を継続している。同委員会での「技能検定制度」に関する取り組みが礎となり「資格制度委員会」の立ち上げにつながった。

人材開発委員会では、人材の高度化を目的として各種講習会・研修会・講演会・工場見学会など多彩な事業を毎年積極的に行なっている。

広報委員会

活動方針	機関誌「結」の定期発刊を行い情報発信・提供を行う	
事業内容	・機関誌「結」の発刊	
委員長沿革	創立～	中谷　　格
	平成１８年度～	今井　敏雄
	平成２０年度～	樫本　宏志

広報委員会は、組合事業活動を組合内外に広く情報発信するための機関誌「結」を年２回定期発刊することが主な活動である。　平成２４年末までに通算 23 号を発刊した。

「結」という名称は、世界遺産に登録されている岐阜県白川郷の合掌家屋での共同作業「結（ゆい）」に因み取られている。関西の５つのねじ団体が合併発足した関西ねじ協同組合が強い絆で結ばれる願いが込められている。

また委員自らが会員企業に足を運び取材するなど、原稿執筆から編集までの作業を創立当初から継続して行い、紹介企業は６７社を数えている。

組合企業紹介　掲載企業

掲載号	企　業　名
２	西精工㈱、㈱ヒラノファステック、原鉄工㈱、檜山崎精螺㈱
４	日産ネジ㈱、㈱丸ユム製作所、梅鉢鋼業㈱　小倉工場、㈱中島田鉄工所
５	㈱ナツハラ、日本パワーファスニング㈱、㈱巴製作所、㈱オーアンドケー
６	大洋ナット工業㈱、ケーエム精工㈱、㈱三和鋲螺製作所、大阪精工㈱
７	日東精工㈱、ロックファスナー㈱
８	㈱朝日押捻子製作所、池田金属㈱、金剛鋲螺㈱、㈱アルミネ
９	㈱ダイロック、㈱白天製作所、松本ナット工業㈱、タケダツール㈱
１０	鹿児島金属㈱、フジテック㈱
１１	紀州ファスナー工業㈱、㈱富士製作所、三喜鋲螺㈱、田中熱工㈱
１２	㈱アルテス、日本ファスナー工業、サカモト工業㈱、㈱信光ステンレス
１３	㈱フセラシ、㈲東京タッピングマシン製作所
１４	㈱神山鉄工所、㈱野村工具製作所
１５	㈱オーピージ、㈱テクニス、旭サナック㈱、㈱三明製作所
１６	㈱コクブ、㈱粉室製作所、㈲アールケイ興産
１７	光精工㈱、㈱丸菱ナット製作所、北角紙器㈱
１８	㈱江浦製作所、㈲サカエ製鋲所、東和工業㈱
１９	嘉亀鋼業㈱、㈱ヨット印・ダイワ、日高鉄工㈱
２０	日本鋲螺㈱、㈱ヤマヒロ、日之出金属熱錬㈱
２１	高越鋼業㈱、マツダ㈱、サカイ工機㈱
２２	㈲三協鉄工所、東洋ナット㈱、㈱大和螺子製作所
２３	㈲浜岡鍍金工業所、㈱小畠鉄工所

結（ゆい）第23号

第10回通常総会を開催

IT 活用委員会

活動方針	インターネットを活用した組合の広報活動を行う
事業内容	・組合ホームページの運営、管理 ・組合所属企業情報コンテンツの充実 ・ネット媒体の活用方法の研究
委員長沿革	平成２０年度～　　勝亦　良彰（当時は IT 活用研究会） 平成２２年度～　　川端　康弘

IT 活用委員会は組合活動の広報をインターネットという媒体を通して行なっている。

組合ウェブサイト(www.kansaineji.com)の運営管理が主な活動内容である。

関西ねじ協同組合は設立初期から組合ウェブサイトを保有し、積極的にインターネットでの広報活動に取り組んできた。しかし、インターネットの普及拡大に伴い２００８年に IT 活用研究会がスタート、２０１２年度には委員会へ格上げされより積極的な活動へ前進している。なお、本年はウェブサイトの全面リニューアルに着手した。

2003 年

設立当時のウェブサイト

2006 年

第一回リニューアル時のウェブサイト

2013 年

全面リニューアル！

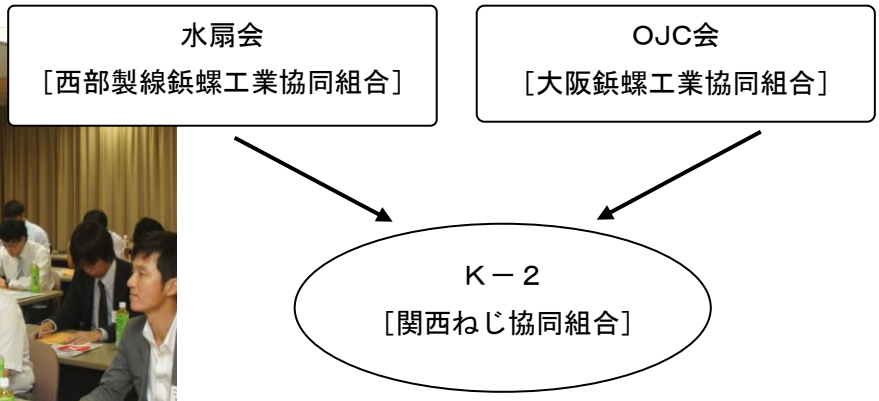
Ｋ－２（関西ねじ２世会）

活動方針	２世経営者に必要な資質・知識を養成・修得することを目指す	
事業内容	・総会、勉強会、二会合同研修会、忘年会、旅行会の開催	
代表幹事沿革	平成１６年度［K-2 会創立］	松田　英成
	平成１７年度	山川　佳秀
	平成１８年度	山下　貴嗣
	平成１９年度	北井　啓之
	平成２０年度	平田　政弘
	平成２１年度	柳原　考至
	平成２２年度	松本　典丈
	平成２３年度	豊田　裕司
	平成２４年度	佐伯　祐二

「Ｋ－２」は、関西ねじ協同組合設立後に在阪ねじ団体の青年部である西部製線鋲螺工業協同組合「水扇会」、大阪鋲螺工業協同組合「ＯＪＣ会」が統合するとともに、ねじ商社の若手組織「ＯＳ会」の一部メンバーが参加して設立された。会の趣旨に沿い４５歳を迎えると自動的に卒業となることが特徴である。

当初４８名でスタートし、現在（平成２５年１月）は６０名を数えるまでに会員増強している。勉強会や忘年会などを通して会員相互の交流を深めるとともにＯＳ会と合同の研修会も毎年行われ、２世経営者が自己研鑽と人脈を広げる機会として大きな成果を果たしている。

写真：K-2 勉強会の様子



Ｋ－２の設立記念式典は、平成１６年年１０月８日、大阪市天王寺区ホテルアウィーナ大阪で設立記念式典が総勢９３名の参加者で執り行われました。

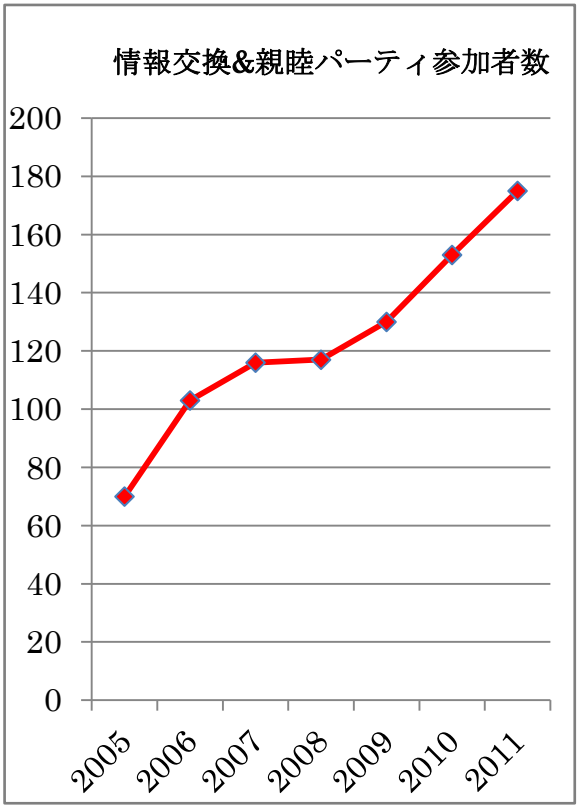
ねじづくりサポート会

（旧賛助会分科会）

活動方針	組合員企業との交流により相互の発展・進化の機会を目指す	
事業内容	・組合員との情報交換&親睦パーティ ・技術展示会	
会長沿革	平成１５年度	澤田　　斉
	平成１８年度	田中　良典
	平成２２年度	坂元　正樹

関西ねじ協同組合の設立後まもなく、初代理事長会長田島祥一氏を中心とする理事会から「ねじ等の製造を行う正会員の両輪と位置付けるべき存在として、技術・製造等の領域から情報ＰＲを行う組織」として分科会の設立が呼びかけられた。これを受け、当時の賛助会員有志企業による「賛助会員分科会」が発足した。平成２４年５月には会の趣旨を一層正確に反映させるため「ねじづくりサポート会」へ名称変更を行った。現在２９社で構成されている。

会の主な事業は毎年１２月に行う情報交換&親睦パーティと隔年開催の技術展示会である。情報交換&親睦パーティは平成１７年に参加者７０名で始まったが２０１２年には１７０名を超える盛況なイベントとなっている。また、技術展示会も新技術・新商品の情報発信の場として貴重なイベントとなり組合に大きく貢献している。



第　4　章

歴代役員年表

組合員名簿

The Fasteners Cooperative association of Kansai

歴代役員

第一期　創立～平成16年

役職	氏名	企業名
理事長	田島　祥一	株式会社丸ユム製作所
副理事長	豊田　正喜	株式会社巴製作所
副理事長	夏原　四郎	株式会社ナツハラ
副理事長	土肥　雄治	日本パワーファスニング
理事	松本　五男	松本ナット工業株式会社
理事	木本　寿夫	株式会社白天製作所
理事	中谷　格	東和工業株式会社
理事	酒向　正和	株式会社酒向製作所
理事	古川　正昭	古川製鋲株式会社
理事	池田　栄治	大洋ナット工業株式会社
理事	勝亦　良彰	三喜鋲螺株式会社
理事	後藤　晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
理事	久保　清一	金剛鋲螺株式会社
理事	樫本　隆之	株式会社三和鋲螺製作所
理事	池田　裕之	池田金属株式会社
理事	藤川　廣美	藤川螺子工業株式会社
理事	今井　敏雄	株式会社丸菱ナット製作所
理事	北井　啓之	ケーエム精工株式会社
監事	柳原　三郎	ロックファスナー株式会社
監事	澤田　斉	大阪精工株式会社
相談役	北井　正次	ケーエム精工株式会社
相談役	嶋田　亘	株式会社フセラシ

第二期　平成16年～18年

役職	氏名	企業名
理事長	田島　祥一	株式会社丸ユム製作所
副理事長	豊田　正喜	株式会社巴製作所
副理事長	夏原　四郎	株式会社ナツハラ
副理事長	土肥　雄治	日本パワーファスニング
専務理事	北井　啓之	ケーエム精工株式会社
理事	木本　寿夫	株式会社白天製作所
理事	中谷　格	東和工業株式会社
理事	池田　栄治	大洋ナット工業株式会社
理事	藤原　廣二	フジテック株式会社
理事	勝亦　良彰	三喜鋲螺株式会社
理事	後藤　晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
理事	久保　清一	金剛鋲螺株式会社
理事	樫本　隆之	株式会社三和鋲螺製作所
理事	池田　裕之	池田金属株式会社
理事	今井　敏雄	株式会社丸菱ナット製作所
理事	箕村　理	株式会社ダイロック
監事	柳原　三郎	ロックファスナー株式会社
監事	澤田　斉	大阪精工株式会社
相談役	北井　正次	ケーエム精工株式会社
相談役	嶋田　亘	株式会社フセラシ

歴代役員

第三期　平成18年～20年

役職	氏名	企業名
理事長	田島　祥一	株式会社丸ヱム製作所
副理事長	箕村　理	株式会社ダイロック
副理事長	池田　栄治	大洋ナット工業株式会社
副理事長	池田　裕之	池田金属株式会社
専務理事	中谷　格	東和工業株式会社
理事	豊田　正喜	株式会社巴製作所
理事	木村　繁雄	株式会社冨士製作所
理事	北尾八三一	日産ネジ株式会社
理事	藤原　廣二	フジテック株式会社
理事	勝亦　良彰	三喜鋲螺株式会社
理事	後藤　晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
理事	久保　清一	金剛鋲螺株式会社
理事	今井　敏雄	株式会社丸菱ナット製作所
理事	樫本　宏志	株式会社三和鋲螺製作所
理事	中江　良一	紀州ファスナー工業株式会社
理事	夏原　和哉	株式会社ナツハラ
理事	西　泰宏	西精工株式会社
理事	北井　啓之	ケーエム精工株式会社
監事	柳原　三郎	ロックファスナー株式会社
監事	田中　良典	田中熱工株式会社
相談役	北井　正次	ケーエム精工株式会社
相談役	嶋田　亘	株式会社フセラシ

第四期　平成20～22年

役職	氏名	企業名
理事長	箕村　理	株式会社ダイロック
副理事長	北井　啓之	ケーエム精工株式会社
副理事長	西　泰宏	西精工株式会社
副理事長	中江　良一	紀州ファスナー工業株式会社
専務理事	池田　裕之	池田金属株式会社
理事	中谷　格	東和工業株式会社
理事	木村　繁雄	株式会社冨士製作所
理事	池田　栄治	大洋ナット工業株式会社
理事	北尾八三一	日産ネジ株式会社
理事	藤原　廣二	フジテック株式会社
理事	勝亦　良彰	三喜鋲螺株式会社
理事	後藤　晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
理事	久保　清一	金剛鋲螺株式会社
理事	今井　敏雄	株式会社丸菱ナット製作所
理事	樫本　宏志	株式会社三和鋲螺製作所
理事	夏原　和哉	株式会社ナツハラ
理事	松本　典丈	松本ナット工業株式会社
理事	柳原　考至	ロックファスナー株式会社
理事	豊田　裕司	株式会社巴製作所
理事	川端　康弘	株式会社オー・ピー・ジ
監事	大場　康弘	株式会社コクブ
監事	田中　良典	田中熱工株式会社
相談役理事	田島　祥一	株式会社丸ヱム製作所
相談役	北井　正次	ケーエム精工株式会社
相談役	嶋田　亘	株式会社フセラシ

歴代役員

第五期　平成22～24年

役職	氏名	企業名
理事長	箕村　理	株式会社ダイロック
副理事長	北井　啓之	ケーエム精工株式会社
副理事長	西　泰宏	西精工株式会社
副理事長	中江　良一	紀州ファスナー工業株式会社
専務理事	池田　裕之	池田金属株式会社
理事	中谷　格	東和工業株式会社
理事	池田　栄治	大洋ナット工業株式会社
理事	北尾八三一	日産ネジ株式会社
理事	藤原　廣二	フジテック株式会社
理事	後藤　晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
理事	久保　清一	金剛鋲螺株式会社
理事	今井　敏雄	株式会社丸菱ナット製作所
理事	樫本　宏志	株式会社三和鋲螺製作所
理事	大場　康弘	株式会社コクブ
理事	夏原　和哉	株式会社ナツハラ
理事	松本　典丈	松本ナット工業株式会社
理事	柳原　考至	ロックファスナー株式会社
理事	豊田　裕司	株式会社巴製作所
理事	川端　康弘	株式会社オー・ピー・ジ
理事	松田　洋明	株式会社ヨット印・ダイワ
監事	由良　宜彦	嘉亀鋼業株式会社
監事	田中　良典	田中熱工株式会社
相談役	北井　正次	ケーエム精工株式会社
相談役	嶋田　亘	株式会社フセラシ
相談役	田島　祥一	株式会社丸ユム製作所

第六期　平成24～26年

役職	氏名	企業名
理事長	箕村　理	株式会社ダイロック
副理事長	北井　啓之	ケーエム精工株式会社
副理事長	西　泰宏	西精工株式会社
副理事長	中江　良一	紀州ファスナー工業株式会社
専務理事	池田　裕之	池田金属株式会社
理事	池田　栄治	大洋ナット工業株式会社
理事	北尾八三一	日産ネジ株式会社
理事	藤原　廣二	フジテック株式会社
理事	後藤　晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
理事	久保　清一	金剛鋲螺株式会社
理事	今井　敏雄	株式会社丸菱ナット製作所
理事	樫本　宏志	株式会社三和鋲螺製作所
理事	大場　康弘	株式会社コクブ
理事	夏原　和哉	株式会社ナツハラ
理事	行俊　明紀	株式会社竹中製作所
理事	松本　典丈	松本ナット工業株式会社
理事	柳原　考至	ロックファスナー株式会社
理事	豊田　裕司	株式会社巴製作所
理事	川端　康弘	株式会社オー・ピー・ジ
理事	由良　宜彦	嘉亀鋼業株式会社
理事	松田　洋明	株式会社ヨット印・ダイワ
監事	西川　倫史	日本鋲螺株式会社
監事	田中　良典	田中熱工株式会社
相談役	北井　正次	ケーエム精工株式会社
相談役	嶋田　亘	株式会社フセラシ
相談役	田島　祥一	株式会社丸ユム製作所

関西ねじ協同組合

会員名簿

（平成２４年８月付）

The Fasteners Cooperative association of Kansai

（第４章）組合員名簿

【　正　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
アイエスケー株式会社	石川　和夫	〒　555-0012 大阪市西淀川区御弊島1-16-11	06-6474-0581 06-6474-5770
株式会社朝日押捻子製作所	後藤　晴雄	〒　577-0047 東大阪市西堤楠町2-2-38	06-6782-1381 06-6788-0951
株式会社朝日螺子製作所	松宮　成行	〒　581-0039 八尾市太田新町3-104	0729-49-0158 0729-49-5264
株式会社アルテス	増田　哲哉	〒　553-0006 大阪市福島区吉野1-20-30	06-6441-6201 06-6441-2883
池田金属株式会社	池田　裕之	〒　577-0807 東大阪市菱屋西6-9-18	06-6781-2766 06-6787-3592
和泉工業株式会社	赤坂　真人	〒　598-0071 泉佐野市鶴原1873	0724-63-2525 0724-64-1105
株式会社伊藤戸車製作所	伊藤　弦治	〒　535-0004 大阪市旭区生江1-9-6	06-6921-0297 06-6928-7237
株式会社ウマノ	中川　一正	〒　578-0921 東大阪市水走5-5-47	0729-64-1329 0729-64-8475
株式会社江浦製作所	江浦　善照	〒　577-0805 東大阪市宝持4-13-17	06-6724-4741 06-6724-4744
オーアイテック株式会社	岡井　康治	〒　598-0034 泉佐野市長滝581-1	072-479-6777 072-466-2700
株式会社大阪金属工業所	牧　　康司	〒　581-0026 八尾市曙町1-40	072-922-1696 072-999-0427
株式会社大阪磨ナット製作所	延安　一平	〒　557-0063 大阪市西成区南津守6-7-34	06-6659-1345 06-6658-2153
大西鋲螺株式会社	大西　　進	〒　572-0814 寝屋川市堀溝1-7-11	072-821-3471 072-821-5116
株式会社大西精工	大西　國隆	〒　577-0006 東大阪市楠根1-6-36	06-6744-3639 06-6745-6548
株式会社オー・ピー・ジ	川端　康弘	〒　559-0031 大阪市住之江区南港東3-2-86	06-6612-2203 06-6613-1325
株式会社岡井鉄工所	岡井　謙一	〒　598-0071 泉佐野市鶴原3-2-41	0724-63-6101 0724-63-6228
株式会社織田螺旋製作所	織田　隆弘	〒　537-0001 大阪市東成区深江3-5-2	06-6971-1778 06-6976-3844
株式会社小野製作所	小野　　衛	〒　701-0221 岡山県岡山市藤田602	086-296-2236 086-296-5931
株式会社角谷製鋲工作所	角谷　恒一	〒　577-0061 東大阪市森河内西1-1-8	06-6781-5950 06-6781-5985
鹿児島金属株式会社	倉津　孝夫	〒　583-0841 羽曳野市駒ケ谷2-197	072-957-5544 072-957-5540
株式会社神山鉄工所	神山　裕義	〒　577-0067 東大阪市高井田西5-4-8	06-6782-2255 06-6782-3257
紀州ファスナー工業株式会社	中江　良一	〒　578-0943 東大阪市若江南町5-3-53	06-6723-8800 06-6723-6545
北村精工株式会社	北村　幸信	〒　582-0027 柏原市円明町1000-11	0729-77-7306 0729-77-8667
株式会社北螺子製作所	北　　喜次	〒　578-0903 東大阪市今米2-5-24	0729-61-8146 0729-66-4740
株式会社協栄製作所	松本正三郎	〒　637-0014 奈良県五條市住川町1387	0747-26-3570 0747-26-3576
株式会社共進螺子製作所	福田　健二	〒　577-0066 東大阪市高井田本通2-5-35	06-6783-3886 06-6787-5280
協和螺旋鋼業株式会社	梅林　　寛	〒　577-0827 東大阪市衣摺6-10-31	06-6721-1413 06-6736-2519
近畿螺旋工業株式会社	山口　正一	〒　559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-7-24	06-6685-4881 06-6685-5159
ケーエム精工株式会社	北井　敬人	〒　578-0982 東大阪市吉田本町1-10-16	072-966-4466 072-966-6677
高越鋼業株式会社	吉田ハルヱ	〒　779-3633 徳島県美馬市脇町井口	0883-52-0177 0883-52-0173

【　正　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
光洋製鋲株式会社	岡本　光弘	〒　577-0067 東大阪市高井田西5-1-44	06-6781-3155 06-6781-3157
光洋テック株式会社	本小　英一	〒　577-0037 東大阪市御厨西ノ町1-4-12	06-6788-6456 06-6788-6538
株式会社五枝精工	五枝　義次	〒　579-8052 東大阪市上四条町8-11	0729-24-7282 0729-24-9043
株式会社コクブ	大場　康弘	〒　634-0836 奈良県橿原市新堂町222-1	0744-25-7878 0744-25-4848
株式会社粉室製作所	粉室　各伸	〒　583-0841 羽曳野市駒ケ谷5-30	072-959-3300 072-959-3301
金剛鋲螺株式会社	久保　清一	〒　577-0016 東大阪市長田西3-5-1	06-6744-3255 06-6744-2188
株式会社酒井製鋲所	酒井　三男	〒　582-0009 柏原市大正3-4-20	0729-72-0696 0729-71-5488
有限会社サカエ製鋲所	橋本惣次郎	〒　577-0835 東大阪市柏田西2-2-10	06-6727-1643 06-6728-6436
株式会社酒向製作所	酒向　正博	〒　550-0025 大阪市西区九条南3-14-8	06-6583-3500 06-6583-4680
阪村産業株式会社	山上　賢司	〒　613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地5-1	0774-43-7010 0774-41-7123
有限会社三協鉄工所	田中　栄史	〒　550-0025 大阪市西区九条南3-21-11	06-6581-3536 06-6581-3538
三和精工株式会社	木村　進次	〒　557-0032 大阪市西成区旭3-4-24	072-236-0381 072-236-0100
株式会社三和鋲螺製作所	樫本　宏志	〒　578-0982 東大阪市吉田本町2-7-9	0729-63-0381 0729-64-5502
株式会社島村鉄工所	島村　和用	〒　551-0031 大阪市大正区泉尾7-1-33	06-6554-4123 06-6554-4412
城東製鋲株式会社	隅田　彰三	〒　577-0023 東大阪市金物町2-12	06-6725-1223 06-6725-1228
株式会社白河捻子製作所	白河　　登	〒　544-0012 大阪市生野区巽西4-1-21	06-6757-7521 06-6757-7524
株式会社新興螺子	鷺森　　満	〒　579-8003 東大阪市日下町3-7-18	0729-88-3135 0729-88-1768
有限会社新城製作所	新城　　忠	〒　596-0011 岸和田市木材町17-6	0724-38-7779 0724-38-7499
末廣精工株式会社	西村　光洋	〒　587-0042 堺市美原区木材通4-14-14	072-361-3601 072-362-5204
株式会社杉本製作所	杉本　堅次	〒　550-0022 大阪市西区本田4-3-23	06-6581-0231 06-6581-0233
株式会社スザキ	須崎　敏充	〒　581-0815 八尾市宮町6-9-52	0729-96-6075 0729-96-7581
相互ネジ株式会社	杉田　　淳	〒　578-0921 東大阪市水走3-3-28	0729-66-6116 0729-66-6607
大東鋼業株式会社	浅田　隆司	〒　578-0978 東大阪市東鴻池町2-2-62	0729-61-6281 0729-61-6285
大東金属株式会社	井上　一郎	〒　557-0055 大阪市西成区千本南2-16-43	06-6658-3410 06-6657-0823
大平鋲螺株式会社	平石正一郎	〒　581-0066 八尾市北亀井町2-2-3	0729-93-1261 0729-91-5600
太陽精工株式会社	山下　貴嗣	〒　601-8344 京都市南区吉祥院蒔絵町21	075-681-1416 075-681-8508
大洋ナット工業株式会社	池田　栄治	〒　636-0103 奈良県生駒郡斑鳩町幸前2-6-12	0745-74-0771 0745-74-4745
株式会社ダイロック	箕村　　理	〒　550-0025 大阪市西区九条南2-5-24	06-6582-1524 06-6582-3078
大和興発株式会社	小瀬 裕成	〒　661-0965 兵庫県尼崎市次屋3-3-3	06-6499-3797 06-6499-4875
株式会社高野製作所	高野　継雄	〒　550-0024 大阪市西区境川2-2-44	06-6583-0504 06-6583-1886

（第４章）組合員名簿

【　正　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
株式会社タクシン	山崎　伸也	〒　543-0043 大阪市天王寺区勝山1-4-8	06-6770-1987 06-6770-1988
株式会社竹中製作所	行俊　明紀	〒　578-0984 東大阪市菱江6-4-35	06-6789-1555 06-6782-2053
株式会社棚原ネジ製作所	棚原　憲吉	〒　564-0035 吹田市中の島町1-19	06-6382-1661 06-6381-5610
玉船螺旋株式会社	野口　健二	〒　550-0024 大阪市西区境川2-5-20	06-6582-3449 06-6582-4628
筒井鉄工株式会社	筒井吉太郎	〒　550-0025 大阪市西区九条南2-18-2	06-6582-1746 06-6582-2327
帝国製鋲株式会社	鈴木　典和	〒　552-0022 大阪市港区海岸通3-2-21	06-6572-2951 06-6575-0769
株式会社テクニス	西田　和子	〒　573-1132 枚方市招堤田近1-10	072-857-3634 072-857-3031
株式会社東工舎金属製作所	東瀬　いく	〒　544-0032 大阪市生野区中川西3-7-22	06-6741-6125 06-6741-6129
東洋ナット株式会社	江本　将三	〒　581-0035 八尾市西弓削2-217	0729-48-2376 0729-48-1743
東和工業株式会社	中谷　　格	〒　592-8352 堺市西区築港浜寺西町7-20	072-268-0236 072-268-0240
株式会社トコロ製作所	所　庄五郎	〒　522-0211 滋賀県彦根市法士町76	0749-22-7737 0749-24-5263
株式会社巴製作所	豊田　裕司	〒　660-0092 兵庫県尼崎市鶴町7-13	06-6416-6200 06-6416-2096
有限会社永井製作所	岩田　千春	〒　577-0066 東大阪市高井田本通2-4-21	06-6787-8721 06-6787-8722
中村螺子株式会社	中村　勇夫	〒　578-0984 東大阪市菱江4-6-54	0729-61-2748 0729-65-0581
株式会社ナツハラ	夏原　和哉	〒　550-0023 大阪市西区千代崎2-22-22	06-6581-9391 06-6581-5403
浪速鉄工株式会社	堀川　忠彦	〒　552-0007 大阪市港区弁天3-6-15	06-6571-2171 06-6572-8858
ナルト金属株式会社	来田　忠義	〒　554-0024 大阪市此花区島屋4-2-46	06-6465-0551 06-6465-0556
西　精工株式会社	西　　泰宏	〒　770-0005 徳島市南矢三町1-11-4	0886-31-7177 0886-32-7626
株式会社ニチワ	橋本　佳隆	〒　889-3151 宮崎県日南市上方1765	0987-27-1311 0987-27-2348
株式会社日滉精螺製作所	田中　祥元	〒　632-0063 奈良県天理市西長柄町492-1	0743-66-3338 0743-66-3378
ニッコーボルト工業株式会社	川浦　孝司	〒　550-0021 大阪市西区川口3-7-13	06-6583-2600 06-6584-1789
日産ネジ株式会社	北尾八三一	〒　580-0046 松原市三宅中8-4-41	0723-33-1451 0723-37-1445
日東精工株式会社	塩田　展康	〒　623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20	0773-42-8020 0773-42-2550
日本鋲螺株式会社	西川　倫史	〒　578-0924 東大阪市吉田4-4-32	0729-62-0761 0729-65-5514
日本ファスナー工業株式会社	村上　浩隆	〒　538-0041 大阪市鶴見区今津北4-7-18	06-6968-1800 06-6961-3621
株式会社野島製作所	野島　　淳	〒　550-0022 大阪市西区本田4-3-20	06-6582-7334 06-6582-7472
株式会社白天製作所	木本　壽夫	〒　550-0027 大阪市西区九条2-3-18	06-6581-1633 06-6581-1634
株式会社橋本製作所	橋本　元伸	〒　550-0025 大阪市西区九条南4-20-6	06-6581-2981 06-6581-2235
原　鉄工株式会社	原　　孝史	〒　671-0224 兵庫県姫路市別所町佐土975	0792-52-1391 0792-53-7551
光　精工株式会社	辻田　　稔	〒　578-0903 東大阪市今米2-5-11	0729-61-6555 0729-63-2263

【　正　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
株式会社光　製作所	小西　義幸	〒　577-0827 東大阪市衣摺5-5-23	06-6728-8558 06-6728-8524
光ビョーラ工業株式会社	堀内　康司	〒　550-0025 大阪市西区九条南3-22-4	06-6581-5945 06-6581-5949
日高鉄工株式会社	赤坂　　修	〒　579-8063 東大阪市横小路町4-3-30	0729-82-3281 0729-82-8715
七宝産業株式会社	小西　健治	〒　544-0004 大阪市生野区巽北1-13-19	06-6753-0561 06-6753-1778
平井鋲螺工業株式会社	平井　幹員	〒　544-0034 大阪市生野区桃谷2-26-2	06-6731-2404 06-6731-2482
平田ネジ株式会社	平田　政弘	〒　550-0025 大阪市西区九条南3-28-17	06-6581-1822 06-6581-1878
株式会社ヒラノファステック	平野敬太郎	〒　779-3123 徳島市国府町観音寺582-1	0886-42-1039 0886-42-7044
藤川螺子工業株式会社	藤川　壽廣	〒　649-6213 和歌山県岩出市西国分148	0736-62-3657 0736-63-1222
株式会社富士製作所	木村　繁雄	〒　578-0984 東大阪市菱江6-4-28	0729-64-2270 0729-64-0371
フジテック株式会社	藤原　廣二	〒　577-0047 東大阪市西堤楠町3-5-4	06-6788-7020 06-6788-7021
株式会社フセラシ	嶋田　　守	〒　577-0053 東大阪市高井田11-74	06-6789-7121 06-6781-1734
増永産業株式会社	増永　　勉	〒　552-0007 大阪市港区弁天5-11-20	06-6574-5321 06-6575-1892
松金工業株式会社	松本　　隆	〒　521-1112 滋賀県彦根市金沢町1-1	0749-25-4611 0749-25-4613
株式会社松平精工	松平　禎煥	〒　538-0037 大阪市鶴見区焼野3-2-133	06-6911-9696 06-6911-9422
マツダ株式会社	松田　英成	〒　536-0017 大阪市城東区新喜多東2-4-19	06-6968-4981 06-6968-4932
松本ナット工業株式会社	松本　典丈	〒　580-0006 松原市大堀1-8-1	072-332-0710 072-332-0714
株式会社丸ヱム製作所	松元　　収	〒　542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-10-28	06-6281-0185 06-6281-0198
丸共ナット株式会社	濵中雷太郎	〒　584-0022 富田林市中野東2-4-15	0721-24-9600 0721-24-9618
株式会社丸菱ナット製作所	今井　敏雄	〒　581-0852 八尾市西高安町1-17	0729-99-1641 0729-99-5181
三喜鋲螺株式会社	勝亦　良彰	〒　546-0041 大阪市東住吉区桑津1-7-15	06-6714-7881 06-6714-0680
瑞穂工業株式会社	加藤　征士	〒　581-0066 八尾市北亀井町2-5-2	072-994-8011 072-993-2521
三星産業貿易株式会社	中村　重三	〒　577-0054 東大阪市高井田元町2-15-12	06-6782-3151 06-6783-3787
株式会社ミナミダ	南田　豊司	〒　581-0851 八尾市上尾町5-20-1	0729-98-6314 0729-99-9433
株式会社ミヤガワ	宮川資夫	〒　582-0007 柏原市上市1-6-28	0729-71-1701 0729-71-2573
株式会社ムカイ	向井　克政	〒　552-0002 大阪市港区市岡元町1-5-39	06-6583-2331 06-6581-3630
株式会社モリシタ	田井　　聡	〒　572-0845 寝屋川市楠根北町3-1	072-820-0860 072-820-0866
株式会社山慶製作所	山本　浩平	〒　550-0025 大阪市西区九条南3-2-16	06-6581-6536 06-6582-1626
株式会社矢野鉄工所	矢野　佳彦	〒　564-0043 吹田市南吹田1-9-1	06-6318-1855 06-6318-1856
株式会社山上製作所	山上　智宏	〒　590-0008 堺市堺区南庄町2-3-9	0722-29-0883 0722-28-3876
株式会社山川鋲螺製作所	山川　佳秀	〒　579-8065 東大阪市新池島町3-12-16	0729-82-1862 0729-88-3241

（第４章）組合員名簿

【　正　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
山大鉄工株式会社	山崎　　博	〒 559-0031 大阪市住之江区南港東3-2-93	06-6612-2321 06-6612-3388
株式会社大和螺子製作所	紀村征一郎	〒 594-1103 和泉市浦田482-1	0725-56-1199 0725-56-0401
株式会社ヤマヒロ	梅村　賢治	〒 586-0038 河内長野市上原西町4-1	0721-54-5800 0721-54-5970
ユウキ産商株式会社	青木　信介	〒 551-0031 大阪市大正区泉尾6-6-2	06-6551-1788 06-6551-1972
義川製鋲株式会社	義川　修一	〒 581-0813 八尾市泉町3-40	0729-22-7783 0729-22-7784
株式会社吉川鉄工所	吉川　雅博	〒 550-0025 大阪市西区九条南4-23-9	06-6581-7723 06-6582-2314
嘉亀鋼業株式会社	由良　豊一	〒 547-0001 大阪市平野区加美北3-6-30	06-6791-7120 06-6794-3531
株式会社ヨット印・ダイワ	松田　洋明	〒 581-0042 八尾市南木ノ本1-1	0729-91-0414 0729-91-0415
ロックファスナー株式会社	柳原　三郎	〒 581-0814 八尾市楠根町4-22-3	0729-97-9990 0729-97-0115
渡辺螺旋工業株式会社	渡辺　忠弘	〒 537-0001 大阪市東成区深江北1-5-15	06-6981-6371 06-6981-6373

正会員１３０社

【　賛　助　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
有限会社アールケイ興産	森嶋　　勲	〒 581-0035 八尾市西弓削2-6	0729-48-0244 0729-48-0298
株式会社アイル	岩本　哲夫	〒 530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-1-23	06-4798-1170 06-4798-1171
アカマツフォーシス株式会社	赤松　憲一	〒 572-0131 枚方市春日野2-2-17	072-858-0115 072-859-2943
旭サナック株式会社	甘利　昌彦	〒 488-8688 愛知県尾張旭市旭前新田洞5050	0561-53-1212 0561-53-2721
因幡鍍金工業株式会社	寺西　義輝	〒 544-0012 大阪市生野区巽西4-9-7	06-6751-1133 06-6751-1135
株式会社今井信二鉄工所	今井　淳二	〒 537-0001 大阪市東成区深江北3丁目7-30	06-6971-5334 06-6971-5335
株式会社上田鋼機	上田　大輔	〒 578-0914 東大阪市箕輪3-5-7	0729-63-2000 0729-63-2881
株式会社エコー	上田　　健	〒 578-0973 東大阪市東鴻池町2-3-29	072-964-2377 072-964-0997
株式会社オ・エス・ワイ	尾原　信治	〒 530-0044 大阪市北区東天満1-6-12	06-6351-8848 06-6351-8857
株式会社オーアンドケー	奥　　隆雄	〒 555-0041 大阪市淀川区中島2-8-81	06-6471-0110 06-6472-0554
株式会社オーエスアイツール	板谷　和夫	〒 565-0801 吹田市青葉丘北1-2	06-6877-2421 06-6875-1641
大阪精工株式会社	澤田　　斉	〒 579-8014 東大阪市中石切町5-7-59	0729-82-2721 0729-87-1094
株式会社大阪ナット製作所	石田　佳史	〒 537-0003 大阪市東成区神路1-12-9	06-6981-3921 06-6981-4936

【　賛　助　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
株式会社関西電工	大住ヒサ子	〒　577-0818 東大阪市小若江3-3-1	06-6721-4793 06-6724-6588
北角紙器株式会社	北角　尚弘	〒　577-0016 東大阪市長田西3-4-12	06-6746-7944 06-6746-8068
株式会社共立ヒートテクノ	山川　耕司	〒　581-0051 八尾市竹渕西4-28	06-6709-6156 06-6707-1743
ケイライントラベル株式会社	森部　真一	〒　650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通8番	078-391-1701 078-391-2333
株式会社小畠鉄工所	小畠　浩次	〒　578-0903 東大阪市中石切町7-4-51	072-988-6751 072-988-6753
有限会社サーフェイス太平	一居　洋子	〒　547-0001 大阪市平野区加美北2-3-12	06-6757-4831 06-6754-1304
サカイ工機株式会社	小林　洋介	〒　537-0002 大阪市東成区深江南1-16-17	06-6976-5331 06-6974-4903
酒井精工株式会社	八馬　厚雄	〒　557-0062 大阪市西成区津守3-2-10	06-6659-1151 06-6659-1153
株式会社阪村機械製作所	中野　孝之	〒　613-0035 京都府久世郡久御山町下津富ノ城46	0774-43-7007 0774-44-5190
サカモト工業株式会社	坂元　正樹	〒　581-0813 八尾市泉町1-38-2	0729-24-3555 0729-24-3556
株式会社佐々木鍍金	佐々木俊和	〒　577-0067 東大阪市高井田西4-1-19	06-6782-5921 06-6781-4164
サンコーインダストリー株式会社	奥山　淑英	〒　550-0012 大阪市西区立売堀1-9-28	06-6539-3534 06-6539-3546
株式会社サンテックパーツ	林　　克美	〒　567-0057 茨木市豊川4-34-13	072-640-3413 072-640-3411
株式会社三明製作所	谷口　光雄	〒　486-0839 愛知県春日井市六軒屋町西3-9-1	0568-81-8411 0568-83-5844
株式会社サンロック　オーヨド	井隼　敏明	〒　595-0075 泉大津市臨海町2-12	0725-21-6661 0725-21-3262
株式会社ジー・ティー・オノエ	尾上　廣司	〒　537-0002 大阪市東成区深江南2-12-26	06-6973-5555 06-6782-8884
株式会社下西製作所	下西　　巌	〒　578-0935 東大阪市若江東町6-8-25	06-6724-9501 06-6724-9101
株式会社松徳工業所	横尾　準次	〒　582-0027 柏原市円明町1000-30	072-977-0112 072-977-0122
株式会社信光ステンレス	西居慎一郎	〒　577-0015 東大阪市長田3-5-15	06-6789-0456 06-6789-0553
末廣鋼業株式会社	西村　光洋	〒　577-0066 東大阪市高井田本通4-3-3	06-6781-0022 06-6782-7521
スギムラ化学工業株式会社	守田　貴吉	〒　566-0052 摂津市鳥飼本町3-3-22	072-654-4920 072-650-2018
鈴木住電ステンレス株式会社	松本　昭二	〒　450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-13-18	052-564-7300 052-564-7310
住金精鋼株式会社	木村　和成	〒　590-0831 堺市堺区出島西町1	072-241-8401 072-241-7118
大一機工株式会社	多田　　茂	〒　595-0075 泉大津市臨海町1-1	0725-21-2181 0725-21-8891
太陽電鍍工業株式会社	福田　壯吉	〒　577-0033 東大阪市御厨東2-14-16	06-6787-2317 06-6787-2327
タケダツール株式会社	竹田　朋子	〒　580-0032 松原市天美東4-247-2	072-331-1212 072-331-2122
田中熱工株式会社	田中　良典	〒　570-0043 守口市南寺方東通4-24-8	06-6993-0101 06-6991-0010
谷垣金属株式会社	谷垣　敏彦	〒　578-0921 東大阪市水走3-7-12	072-966-1761 072-966-1766
株式会社ティー・アイ・ジー大阪	浅井　　勲	〒　542-0082 大阪市中央区南船場4-6-10	06-6251-1833 06-6251-1832
株式会社ティーコム	池田　夏来	〒　518-0131 三重県上野市ゆめが丘7-5	0595-26-7818 0595-26-7836

（第４章）組合員名簿

【　賛　助　会　員　】

会　社　名	代 表 者 名	住　　所	TEL番号 FAX番号
東京タッピングマシン製作所㈱	島津　孝治	〒　144-0033 東京都大田区糀谷1-20-16	03-3743-5321 03-3744-5253
株式会社東京メタル	竹田　弘二	〒　213-0032 神奈川県川崎市高津区久地166	044-811-7021 044-811-7026
東伸商事株式会社	尾垣　　衛	〒　579-8004 東大阪市布市町1-3-27	0729-85-0085 0729-87-5263
東洋炉工業株式会社	酒井　知行	〒　587-0011 堺市美原区丹上270	072-362-1661 072-362-6375
内藤鍍金工業所	内藤　至彦	〒　581-0851 八尾市上尾町6-12-3	0729-23-4982 0729-98-9188
永岡鋼業株式会社	永岡　栄之	〒　743-0021 山口県光市浅江5-23-21	0833-71-0092 0833-72-0229
株式会社中島田鉄工所	中島田正宏	〒　834-0196 福岡県八女郡広川町日吉1164-4	0943-32-4331 0943-32-5134
ナカツジ精鍛株式会社	中辻　康内	〒　591-8004 堺市北区蔵前町1234	072-255-6188 072-255-6205
二藤レール株式会社	阪本　　薫	〒　579-8037 東大阪市新町12-27	0729-87-2755 0729-87-2756
日本テクノシェーン株式会社	三木　年正	〒　583-0874 羽曳野市郡戸33-5	0729-36-1711 0729-36-1722
有限会社野間田鍍金工場	島　　信司	〒　552-0011 大阪市港区南市岡1-1-29	06-6581-5101 06-6581-5104
株式会社野村工具製作所	野村　修一	〒　631-0803 奈良市山陵町113番地	0742-33-4398 0742-34-3528
ハイテン工業株式会社	田中　伸和	〒　584-0048 富田林市西板持町7-5-38	0721-33-3085 0721-35-7511
有限会社浜岡鍍金工業所	浜岡　康夫	〒　579-8025 東大阪市宝町11-31	0729-81-8735 0729-81-8737
東田機工株式会社	東田　勇人	〒　577-0066 東大阪市高井田本通2-3-3	06-6783-3001 06-6783-1417
日之出金属熱錬株式会社	谷口えり子	〒　577-0067 東大阪市古箕輪1-14-7	0729-61-1331 0729-65-0203
枚岡合金工具株式会社	古芝　保治	〒　543-0042 大阪市天王寺区烏ヶ辻2-1-2	06-6772-2021 06-6770-2253
深江鋼業株式会社	藤田　耕司	〒　537-0001 大阪市東成区深江北3-3-36	06-6971-3686 06-6974-3650
株式会社平和化研	浦崎　憲清	〒　581-0035 八尾市西弓削2-7	072-948-1699 072-948-5926
株式会社マエカワ	前川　信雄	〒　591-8011 堺市北区南花田町433-5	072-255-4041 072-255-4045
マコト産業株式会社	池田　栄治	〒　547-0004 大阪市平野区加美鞍作3-2-44	06-6791-9233 06-6791-9533
株式会社三宏ダイテクノ	岡田　政宏	〒　587-0012 堺市美原区多治井564-1	072-363-3162 072-361-0450
村上鉄工株式会社	村上　正徳	〒　596-0001 岸和田市磯上町6-8-1	072-439-7958 072-436-2322
株式会社ヤリステ	久保　慎二	〒　590-0983 堺市堺区山本町2-66-1	072-227-6467 072-227-6399
株式会社ユタカ	安田　憲司	〒　579-8037 東大阪市新町24-12	072-984-6246 072-981-8016
株式会社ローラーテクニカ	小林　永典	〒　581-0039 八尾市太田新町7-111	0729-48-0792 0729-48-1750
和光金属工業株式会社	山本　　茂	〒　559-0031 大阪市住之江区南港東3-4-46	06-4703-0777 06-4703-0700

賛助会員　７０社

編集後記

創立１０周年記念　記念誌編集担当　池田裕之

皆様方の温かいご支援により平成２４年１０月をもちまして関西ねじ協同組合は創立１０周年を迎えることと相成りました。

平成２５年１月には創立１０周年記念講演と記念式典を大勢の皆様にご参加いただき無事終える事ができましたこと深く感謝しております。

この度、創立１０周年を記念して「１０年のあゆみ」と題した小冊子を発刊致します。

制作にあたっては当組合事務局のスタッフ２名が得意のパソコンを駆使し、過去１０年の情報や資料を整理し、ねじの生産統計など付記して年度ごとに分り易く纏めて頂きました。

また各委員会の活動方針や事業内容を写真と共に整理し、１０年の記録を一目瞭然となるよう纏めてみました。　（多くの写真は組合機関紙「結」からのものです。）

ここで少し寄り道をいたします・・・♪表紙を飾る花についてのウンチクを((^^ゞ♪

花がらせん階段のように並び咲く螺旋花（ねじばな）は蘭科の一種です。

蘭は一般的に環境の変化に弱く、人里離れた山間でひっそりと咲くと植物とされています。

ただその中でも表紙を飾る螺旋花（ねじばな）は大変珍しい一種で、自然から離れた都会で生育し、学校や公園などの芝生を好みますが、定期的な芝刈りや草刈りで、雑草と間違われてその度に排除されてしまいます。　それから再び這い出し成長していきます。

！！何故かねじの様に逞しい(^_^)v！！

また螺旋花（ねじばな）は根元側から順に咲いていくので、上にいくほど花弁は新しく、蜂は螺旋階段を上りつつ蜜のありかを探しあて、この花の優しさを感じる事と思われます。

花がらせん状に咲く植物は他にもありますが、普通は花と花との間隔が広いために分り難く、ですがこの螺旋花（ねじばな）は適度に間隔を詰め、その名の通り『ねじ』の様に見えるのです。

螺旋花（ねじばな）は個々の花弁は小さいのですが、螺旋状に寄り添い連なる事で一つの大きな花に見せ、花粉を運ぶ蜂や昆虫達に遠くからでも目立つようにアピールしているのかもしれません。

寄り道が長くなりましたが、これからも螺旋花（ねじばな）の例えのように、皆様方と一致協力して、逞しく、優しく、そして環境の変化に対応できるよう、ねじ業界が発展していく事をひとえに期待致します。　そしてこの記念誌がその一助となれば幸いです。

最後に、この記念誌作成にご協力頂きました全ての皆様方に心より御礼申し上げます。

有難うございました。